学校法人　兵庫医科大学

2019年度　事業報告書

～建学の精神～

社会の福祉への奉仕

人間への深い愛

人間への幅の広い科学的理解

目　　次

Ⅰ 法人の概要

1. 沿　　革 …… 1
2. 設置する学校・学部・学科等 …… 2
3. キャンパスの所在地 …… 3
4. 役員・評議員・教職員 …… 4
5. 組　　織 …… 7
6. 関　連　法　人 …… 10

Ⅱ 事業の概要

1. 2019年度　事業計画(重点施策)と達成状況 …… 11
2. 法　　人 …… 18
3. 大　　学 …… 28
4. 病　　院 …… 36
5. 篠　山　キ　ャ　ン　パ　ス …… 38
6. 神　戸　キ　ャ　ン　パ　ス …… 41

Ⅲ 財務の概要

1. 2019 年度の決算概要 …… 53
2. 事業活動収支計算書 …… 55
3. 資金収支計算書 …… 57
4. 貸借対照表 …… 58
5. 主要な財務比率の推移 …… 59
6. キャッシュ・フローの推移 …… 61
7. 財　産　目　録 …… 62
8. 監　査　報　告　書 …… 63

Ⅰ 法 人 の 概 要

1. 沿　革

1971 年	11 月	学校法人兵庫医科大学寄附行為認可及び兵庫医科大学設置認可
1972 年	4 月	兵庫医科大学開学（入学定員 医学部 100 名）
	4 月	兵庫医科大学病院開設
1973 年	8 月	病院棟（1 号館）完成
1974 年	4 月	中央動物実験棟（7 号館）完成
	8 月	校舎、講堂（3 号館）完成
1978 年	3 月	兵庫医科大学大学院医学研究科設置認可
1980 年	2 月	病院・研究棟（8 号館）完成
	8 月	兵庫医科大学 ドイツ連邦共和国ザールランド大学との学術交流に関する協定を締結
1981 年	11 月	鳴尾浜総合グラウンド完成
1984 年	4 月	研究棟（9 号館）完成
1994 年	3 月	兵庫医科大学病院　特定機能病院に指定
1995 年	1 月	阪神・淡路大震災　被災
1996 年	10 月	兵庫医科大学病院　災害拠点病院に指定
	11 月	兵庫医科大学病院　エイズ拠点病院に指定
1997 年	4 月	先端医学研究所開設
	10 月	兵庫医科大学篠山病院開設
	11 月	立体駐車場完成
1999 年	6 月	兵庫医科大学リハビリテーションセンター開設
	9 月	兵庫医科大学ささやま老人保健施設開設
	11 月	兵庫医科大学　中華人民共和国汕頭大学医学院との学術交流に関する協定を締結
2000 年	3 月	病院棟（10 号館）完成（開学 25 周年記念事業）
2001 年	4 月	兵庫医科大学附属看護専門学校開校
2004 年	3 月	兵庫医科大学　大学基準協会の相互評価により、大学基準適合の認定
2005 年	3 月	平成記念会館完成（開学 30 周年記念事業）
	12 月	兵庫医科大学病院　日本医療機能評価機構より病院機能評価（Ver.4）の認定
2006 年	3 月	兵庫医科大学　中華人民共和国天津医科大学との学術交流に関する協定締結
	11 月	学校法人兵庫医科大学寄附行為変更認可及び兵庫医療大学設置認可
	11 月	兵庫医科大学病院 PET センター開設
2007 年	4 月	兵庫医療大学開学 （入学定員 薬学部 150 名、看護学部 100 名、リハビリテーション学部 80 名）
	7 月	兵庫医科大学　関西学院大学との学術交流に関する包括協定締結
	7 月	兵庫医科大学病院　兵庫県エイズ治療中核拠点病院に指定
	10 月	兵庫医科大学　クロアチア共和国 Rijeka 大学医学部との学術交流に関する協定締結
2008 年	2 月	兵庫医科大学病院　地域がん診療連携拠点病院に指定
	4 月	兵庫医科大学病院　肝疾患診療連携拠点病院に指定
	7 月	学校法人兵庫医科大学　篠山市と兵庫医科大学篠山病院の運営と整備に関する基本協定を締結
2009 年	3 月	兵庫医科大学附属看護専門学校閉校
	3 月	兵庫医療大学　体育館　完成
	4 月	兵庫医科大学　緊急医師確保対策として 2 名、「骨太の方針 2008」により 8 名増員となり、入学定員は 110 名となる
	4 月	兵庫医科大学病院　兵庫県認知症疾患医療センターに指定
2010 年	6 月	兵庫医科大学ささやま医療センター開院（兵庫医科大学篠山病院を改称）
	12 月	兵庫医療大学大学院看護学研究科及び医療科学研究科設置認可
	12 月	兵庫医科大学病院　日本医療機能評価機構より病院機能評価（Ver.6）の認定
2011 年	3 月	兵庫医科大学　大学基準協会の認証評価により、大学基準適合の認定
2012 年	11 月	兵庫医療大学大学院薬学研究科設置認可
	11 月	学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院設立
	11 月	兵庫医科大学　アメリカ合衆国カリフォルニア大学サンディエゴ校と学術交流に関する 基本合意書を締結
	12 月	兵庫医科大学病院　急性医療総合センター完成（開学 40 周年記念事業）

2013 年	3 月	兵庫医療大学　大学基準協会の認証評価により、大学基準適合の認定
2013 年	5 月	兵庫医科大学　ブルガリア共和国ソフィア医科大学との学術交流に関する協定を締結
	12 月	兵庫医科大学ささやま医療センター　日本医療機能評価機構より病院機能評価（3rdG：Ver.1.0 一般病院 1）の認定
2014 年	3 月	兵庫医療大学　オーストラリア連邦アデレード大学と学術交流に関する基本合意書を締結
	4 月	兵庫医科大学　研究医養成枠として 2 名増員し、入学定員は 112 名となる
2015 年	4 月	兵庫医科大学　健康医学クリニック開設
	4 月	兵庫医療大学　社学連携推進機構設置
2016 年	1 月	兵庫医科大学ささやま居宅サービスセンター開設
	2 月	兵庫医科大学病院　日本医療機能評価機構より病院機能評価（3rdG:Ver.1.1）の認定
	3 月	学校法人兵庫医科大学　篠山市との土地交換契約を締結
	12 月	ドイツ連邦共和国ビュルツブルグ大学医学部と学術交流協定を締結
2017 年	11 月	教育研究棟　竣工
2018 年	2 月	兵庫医科大学病院　兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院に指定
	3 月	兵庫医科大学　大学基準協会の認証評価により、大学基準適合の認定
	6 月	学校法人兵庫医科大学　篠山市との病院運営継続の基本協定を締結
2019 年	2 月	兵庫医科大学ささやま医療センター　日本医療機能評価機構より病院機能評価（3rdG：Ver.2.0 一般病院 1）及びリハビリテーション病院（副機能）の認定
2019 年	4 月	兵庫医科大学病院　兵庫県難病診療連携拠点病院に指定
2019 年	8 月	兵庫医科大学ささやま居宅サービスセンター　厚生労働省より「機能強化型訪問看護ステーション（機能強化型訪問看護管理療養費 3）」の認定
2019 年	9 月	兵庫医科大学病院　がんゲノム医療拠点病院に指定

2. 設置する学校・学部・学科等（2019 年 4 月 1 日現在）

学　校　名	学部・学科等名	入学定員	2019 年度 入学者数	収容定員	現　員
兵庫医科大学 （学長：野口光一） 1972 年 4 月開学	大学院 医学研究科	60	51	240	234
	医学部 医学科	112	112	672	704
兵庫医療大学 （学長：藤岡宏幸） 2007 年 4 月開学	大学院 薬学研究科	3	1	12	7
	大学院 看護学研究科	8	5	16	14
	大学院 医療科学研究科	8	9	16	18
	薬学部 医療薬学科	150	152	900	931
	看護学部 看護学科	100	98	400	433
	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部 理学療法学科	40	45	160	190
	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学部 作業療法学科	40	39	160	171

3. キャンパスの所在地

学校法人兵庫医科大学

西宮キャンパス　兵庫県西宮市武庫川町１番１号（〒663－8501）
兵庫医科大学　医学部　医学科
大学院　医学研究科
兵庫医科大学病院

篠山キャンパス　兵庫県丹波篠山市黒岡５番地（〒669－2321）
兵庫医科大学　ささやま医療センター

兵庫県丹波篠山市黒岡 36 番地（〒669－2321）
兵庫医科大学　ささやま老人保健施設
ささやま居宅サービスセンター

神戸キャンパス　兵庫県神戸市中央区港島１丁目３番６（〒650－8530）
兵庫医療大学　薬学部　医療薬学科
看護学部　看護学科
リハビリテーション学部　理学療法学科　作業療法学科
大学院　薬学研究科
大学院　看護学研究科
大学院　医療科学研究科

4. 役員 ・評議員・教職員

○ 役 員 （2020 年 3 月 31 日現在）

理 事【定員 17～19 名・現員 19 名】

現　職	氏 名	常勤・非常勤の別	就任年月日	担 当 業 務
理事長	太 城 力 良	常 勤	2005.6.1	総括
常務理事	西 岡 清	〃	2016.4.1	経営企画・管理（予算を含む）、病院事業の統括、施設整備
兵庫医科大学 学長	野 口 光 一	〃	2009.4.1	兵庫医科大学の運営、渉外、情報システム統括、男女共同参画、50 周年記念事業
兵庫医療大学 学長	藤 岡 宏 幸	〃	2019.4.1	兵庫医療大学の運営、渉外、兵庫医療大学教育改革全般
兵庫医科大学病院長・兵庫医科大学副学長	阪 上 雅 史	〃	2016.4.1	大学病院の運営、渉外、医療人育成統括、健康医学クリニック、臨床研究
兵庫医科大学教授・副学長・医療人育成研修センター長	鈴木敬一郎	〃	2013.4.1	医学教育、広報統括、二大学統合問題担当、医療人育成研修センター運営、コンプライアンス
兵庫医科大学教授・兵庫医科大学病院副院長	西 信 一	〃	2019.4.1	危機管理（統括、西宮キャンパス）、新病院の企画
兵庫医科大学教授・副学長兵庫医科大学病院副院長	三 輪 洋 人	〃	2016.4.1	募金・基金、国際交流全般、孔子学院の運営
ささやま医療センター病院長	片 山 覚	〃	2019.4.1	篠山キャンパスの運営
ささやま医療センター看護部長・副院長	山 田 明 美	〃	2015.4.1	法人の看護業務統括 危機管理（篠山キャンパス）
兵庫医療大学教授・副学長	前 田 初 男	〃	2016.4.1	兵庫医療大学の研究推進、兵庫医療大学の社学連携、危機管理（神戸キャンパス）、情報システム（神戸キャンパス）
常勤理事	松 村 昭 夫	〃	2019.4.1	総務、人事、財務、物流
清水クリニック院長・兵庫医科大学 後援会会長	清水聡一郎	非常勤	2019.4.1	
宝塚市立病院 総長	難 波 光 義	〃	2019.4.1	
弁護士	畑 守 人	〃	2007.4.1	
兵庫県医師会 会長・空地内科院 院長	空 地 顕 一	〃	2016.7.29	
協和会グループ 会長	木 曽 賢 造	〃	2014.4.1	
兵庫県健康福祉部 健康局健康局長	味木和喜子	〃	2019.6.1	
東日本税理士法人 税理士	夏 苅 千 晶	〃	2019.4.1	

監 事【定員 2～3 名・現員 3 名】

現　職	氏　名	常勤・非常勤の別	就任年月日
常勤監事	森 田 泰 夫	常 勤	2019.4.1
公認会計士	中 西 清	非常勤	2015.4.1
済生会神奈川県支部支部長・常務理事	正 木 義 博	〃	2018.12.1

○ 評議員 （2020 年 3 月 31 日現在）

評議員【定員 38～42 名・現員 41 名】

氏 名	主 な 現 職
太 城 力 良	理事長
西 岡 清	常務理事
野 口 光 一	兵庫医科大学 学長
藤 岡 宏 幸	兵庫医療大学 学長
阪 上 雅 史	兵庫医科大学病院長・兵庫医科大学 副学長
鈴木敬一郎	兵庫医科大学教授・副学長・医療人育成研修センター長
西 口 修 平	兵庫医科大学教授・副学長
三 輪 洋 人	兵庫医科大学教授・副学長・兵庫医科大学病院副院長
山 田 明 美	ささやま医療センター看護部長・副院長
片 山 覚	ささやま医療センター病院長
西 信 一	兵庫医科大学教授・兵庫医科大学病院副院長
長谷川誠紀	兵庫医科大学教授・学生部長・兵庫医科大学病院副院長
飯 島 尋 子	兵庫医科大学教授
辻 村 亨	兵庫医科大学教授・教務部長
池 内 浩 基	兵庫医科大学教授・副学長・兵庫医科大学病院副院長
丸山美津子	看護部長・兵庫医科大学病院副院長
大 柳 光 正	健康医学クリニック院長
佐々木周一	事務局長
前 田 初 男	兵庫医療大学教授・副学長
田 中 稔 之	兵庫医療大学教授・薬学部長
山 﨑せつ子	兵庫医療大学教授・副学長
網 島 ひづる	兵庫医療大学教授・看護学研究科長
大江与喜子	上ヶ原病院 理事長
清水聡一郎	清水クリニック院長・兵庫医科大学後援会会長
澤 田 友 宏	ペガサス馬場記念病院 薬剤部・兵庫医療大学同窓会会長
松 村 昭 夫	常勤理事
難 波 光 義	宝塚市立病院 総長
石 藏 礼 一	神戸市立医療センター中央市民病院 放射線診断科 部長
成 田 康 子	公益社団法人兵庫県看護協会 会長
畑 守 人	弁護士
笠 井 秀 一	一般社団法人兵庫県薬剤師会 会長
岩 井 信 彦	一般社団法人兵庫県理学療法士会 会長
山 中 若 樹	医療法人明和病院 理事長・病院長
木 曽 賢 造	協和会グループ 会長
空 地 顕 一	兵庫県医師会 会長・空地内科院 院長
元 佐 龍	兵庫県健康福祉部健康局医務課長
田村比佐雄	西宮市副市長
熊 谷 保 徳	神戸市保健福祉局健康部長
平 野 斉	丹波篠山市副市長
明 石 章 則	宝塚市 病院事業管理者
夏 苅 千 晶	東日本税理士法人 税理士

○ 教職員数（2020 年 3 月 31 日現在）

1. 教員数

	西宮キャンパス	篠山キャンパス	神戸キャンパス	合 計
学長	1	-	1	**2**
副学長	5	-	4	**9**
教授	68	1	36	**105**
准教授	34	1	21	**56**
講師	111	3	31	**145**
助教	225	13	26	**264**
助手	-	-	4	**4**
合 計	**444**	**18**	**123**	**585**

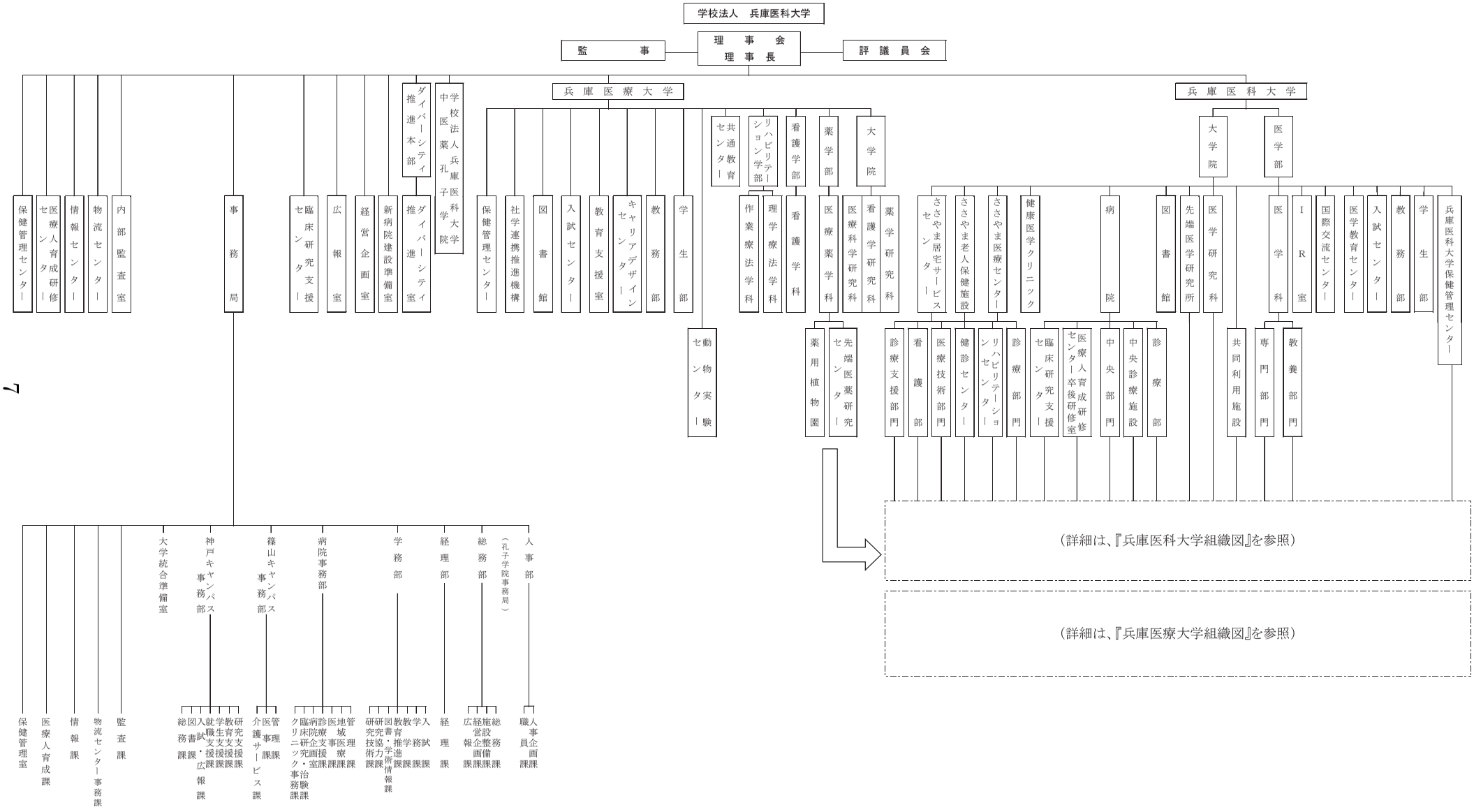
2. 職員数

		西宮キャンパス	篠山キャンパス	神戸キャンパス	合 計
医師	病院長	1	1	-	**2**
	健康医学クリニック院長	1	-	-	**1**
	病院助手	81	4	-	**85**
	レジデント	98	6	-	**104**
	臨床研修医	116	-	-	**116**
医療技術職員		1,458	222	2	**1,682**
その他技術職員		220	-	11	**231**
福祉職員		11	63	-	**74**
事務職員		437	55	58	**550**
技能・労務職員		201	39	1	**241**
合 計		**2,624**	**390**	**72**	**3,086**

5. 組織

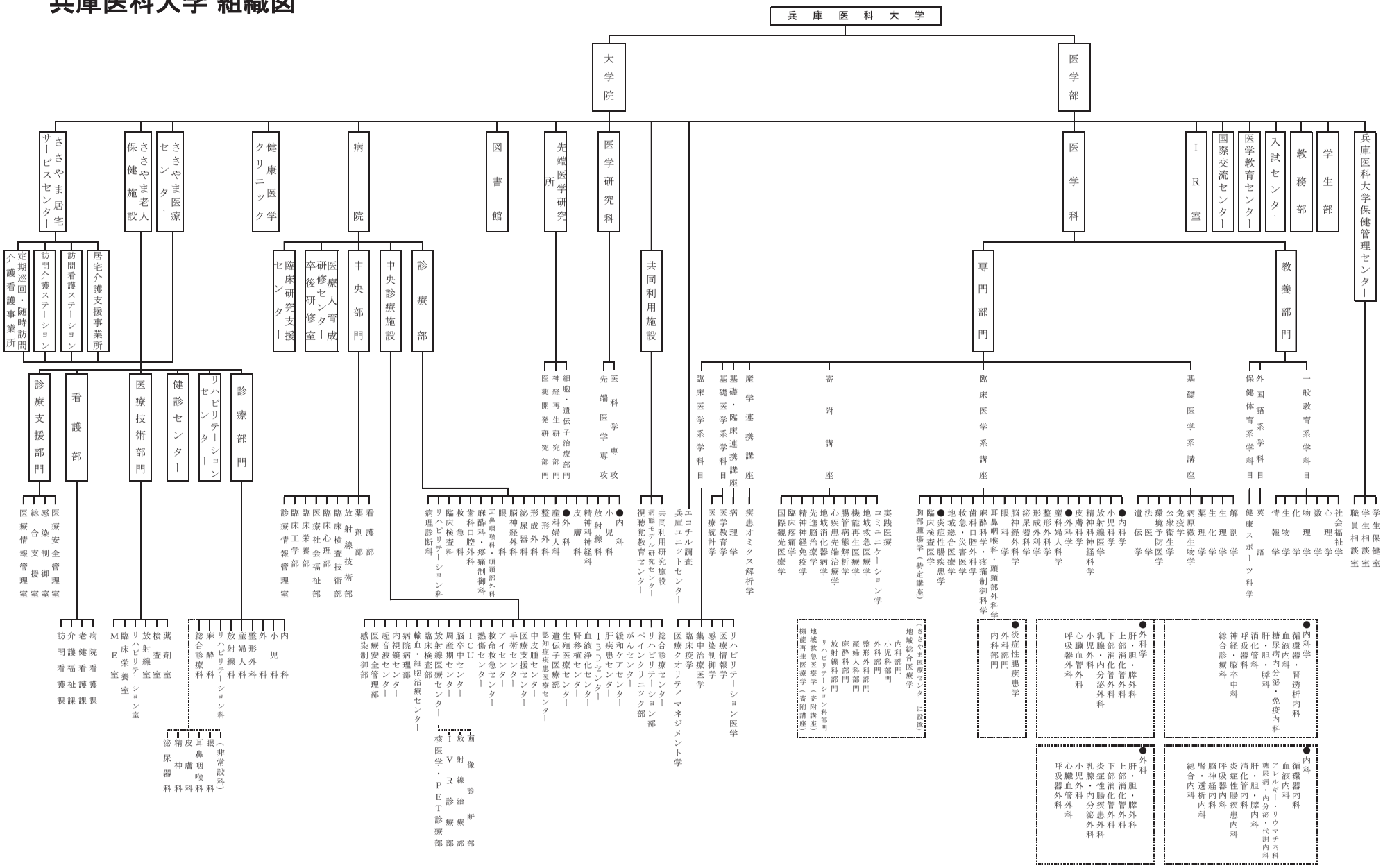
【2020年3月31日現在】

学校法人兵庫医科大学 組織図



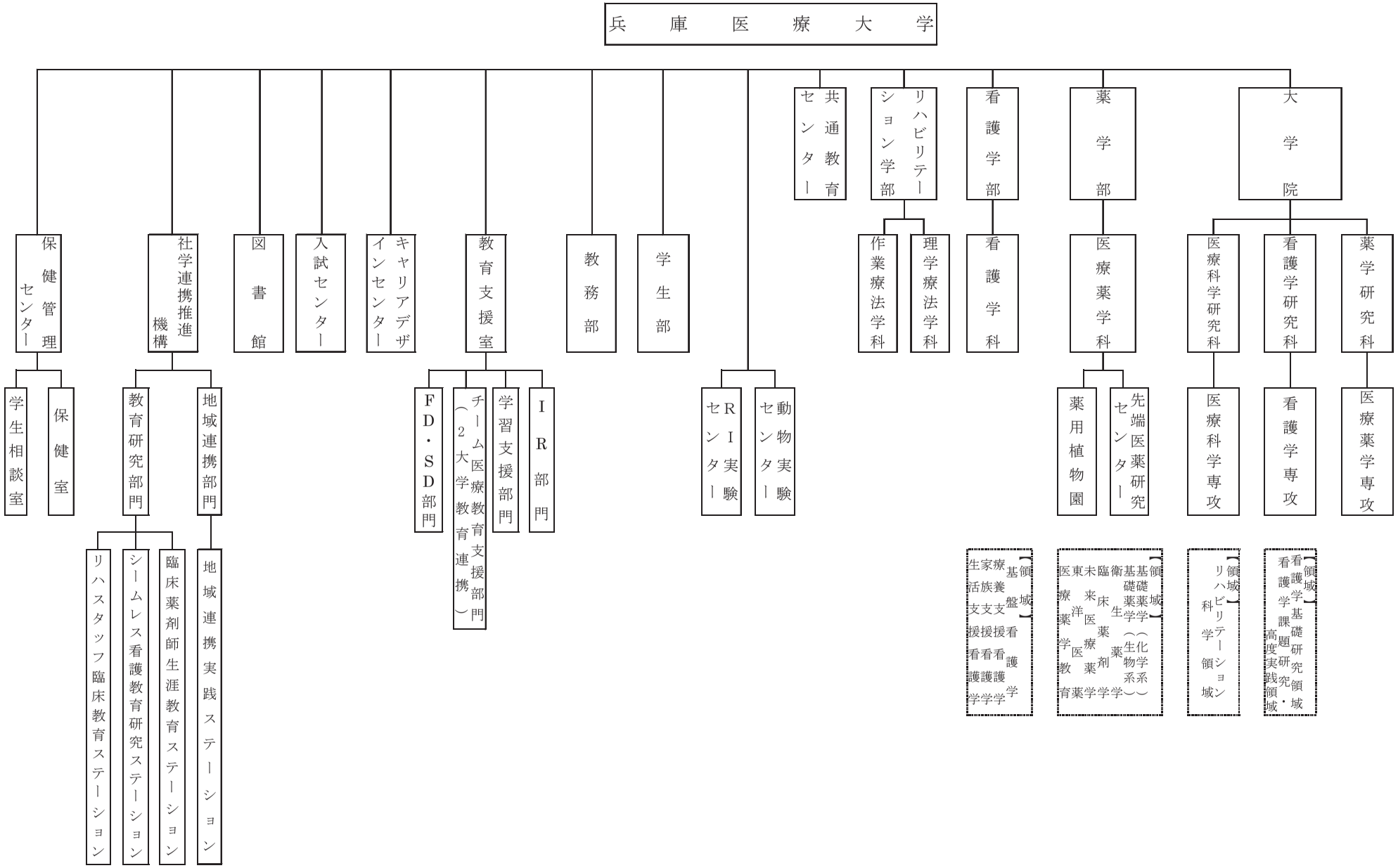
【2020年3月31日現在】

兵庫医科大学 組織図



【2020年3月31日現在】

兵庫医療大学　組織図



6. 関 連 法 人

○ 株式会社 エイチ･アイ

設　立　日	2004(平成16)年 12 月 1 日	
資　本　金	1,000万円	
所　在　地	西宮市武庫川町 1番1号	
出　資　者	学校法人　兵庫医科大学	
役員構成	代表取締役	多田宏幸
	取　締　役	阪上雅史
	取　締　役	松村昭夫
	取　締　役	佐々木周一
	取　締　役	甲斐義啓
	取　締　役	中村高志
	取　締　役	入江　猛
	取　締　役	丸山美津子
	取　締　役	香川静麿
	取　締　役	山本晴生
従　業　員	31名	
事業内容	飲食店･売店及び駐車場の運営管理、業務受託他	

○ 有限会社 エイチ･アイ･サービス

設　立　日	2005(平成17)年 1 月 5 日	
資　本　金	300万円	
所　在　地	西宮市武庫川町 1番1号	
出　資　者	株式会社　エイチ･アイ	
役員構成	取　締　役	香川静麿
従　業　員	3名	
事業内容	損害保険代理店業、業務受託他	

Ⅱ事業の概要

1. 2019 年度事業計画＜重点施策＞と達成状況

計画№	事業名、事業の概要	達成状況
1	【事業名】 新病院建設計画にかかる基本計画書の策定及び基本設計業務の実施 【事業の概要】 1. 基本計画まとめ 2. 基本設計業務の実施（2020 年度複数年計画） 3. 新立体駐車場・デッキ棟の着工 4. 西宮キャンパスグランドデザインの検討・策定（跡地利用計画の検討を含む）	1. 兵庫県立西宮病院跡地利用の検討、新病院建設計画の延期の検討をした為、当初の計画より遅延したが、基本計画書の策定が完了し、9 月 3 日開催の常務会、9 月 26 日開催の理事会・評議員会で報告を行った。 また、9 月開催の教授会、病院部長会でも同様の報告を行い、全教職員対象に説明会を行った。 8 月 1 日から基本計画書の策定に引き続き、久米設計と基本設計業務に関する契約を締結した。 2. 8 月 1 日から基本設計業務に着手し、各部門に対してヒアリングを実施し、各外来・中央診療施設・中央部門の部門プランニング図の策定は 8 割以上完了し、機器備品整備リスト、機器備品プロット図の策定に着手している。一部部門では機器備品整備リスト、機器備品プロット図の策定が完了している。 また、病棟に関しては、基本病棟のプランニング図の策定が完了し、特殊病棟（MFICU、SCU、精神科神経科、血液内科）についてのヒアリングを実施した。 3. 着工に必要な各種行政手続きが完了し、9 月から工事に着手、2021 年 3 月工事完了に向けて当初工程どおりに進捗している。 将来の資金計画を考慮して新立体駐車場・デッキ棟の運営事業者を選考し、優先交渉権者と運営権実施契約を締結した。 4. 9 号館の残存機能移設に関して、移設先の調整を行い、施設利用調整会議において、移設先の承認を得た。 健康医学クリニックの継続利用、資料棟は新病院棟竣工後も建物は存続させ、更衣室等として活用することが基本計画として確定した。 総合研修棟は残存機能を移設し、解体の準備作業に着手している。跡地利用については、敷地内保育園の設置に向け、複数の運営業者から情報収集を行っており、補助金等行政の動向及び現行業者との契約を勘案しながら、検討を進めている。
2	【事業名】 50 周年事業の検討 【事業の概要】 1. 実施事業の立案及び内容の検討 2. 募金事業の具体化 3. 2 大学統合の是非について検討	1. 前回（40 周年）の実施事業等の記録をまとめた上で、事業推進体制、募金期間、式典開催日、制作物等、事業概要を取り纏めた。 ・記念事業委員会の体制整備。 ・記念式典は 2022 年 3 月 26 日（土）に開催することを決定。 ・募金目標額は 20 億円。募集期間は 2021 年 4 月～2026 年 3 月。 ・記念 DVD を制作することとした。 2. 40 周年記念事業募金の実績から、50 周年記念事業募金の目標額を精査し、20 億円で決定した。 なお、50 周年記念事業募金推進委員会内規、募金名称の案を作成していたが、法人決定により、募集期間の開始時期が 2021 年 4 月からとなったため、募金名称、募金目的等は次年度に引き続き検討することとなった。 3. 2 大学統合については、事務担当が文部科学省に手続きの確認等を進め、両大学の学生・保護者及び同窓会に説明し了承を得たうえで、11 月度理事会で、2022 年 4 月までに統合を実現する方向性で進めて行くことを決定した。2 月 1 日付で、法人部門・医科大学部門・医療大学部門の教職員で構成する大学統合準備委員会及び準備室を設置した。3 月 3 日に第 1 回大学統合準備委員会を開催し、その後 3 月中旬に各部会のメンバーを選定し、申請準備、必要な規程の整備等、統合に向け活動を進めている。

3	【事業名】 事務部門における業務の効率化・最適化 【事業の概要】 1. 業務効率化タスクフォースによる効率化・最適化に向けた具体案の立案及び実施 2. マニュアルの様式統一と当該様式によるマニュアルの作成(1 の概要にも含む)	1. 本活動は BPR(Business Process Re-engineering)推進プロジェクトチーム(以下、PT)による活動へと変更され、事務局の各部門より選出した構成員が自部門及び関連の深い部門の業務に対する改善の提案及び実施を行った。 サポート体制としては事務局長を筆頭に経営企画課、人事企画課の計 6 名から成る BPR 事務局を設置し、各構成員へのヒアリングも実施することで、進捗状況や課題の共有を行った。 PT 全体での会議も 9 月、12 月、3 月の計 3 回行うことで、活動に対する一体感の醸成を図るとともに、3 月開催の会議においては今年度における活動の結果報告を行い、全 12 名の構成員より、合計 66 の取り組み事項に対する報告があった。 取り組み結果に関する教職員への周知方法は、グループウェアでの公開から実際に全教職員を対象とした報告会開催への変更も検討したが、次年度への継続課題とし、当初の計画どおりグループウェアで報告書を公開することとした。しかしながら、取り纏めに時間を要したことから年度内の公開は叶わず次年度に入った 4 月に公開予定である。 2. マニュアル本体も含めた様式の統一、専用システムの導入は業務的および費用的な負担が非常に大きいことから見送ることとし、マニュアルの概要をまとめた表紙部分に限定し、経営企画課にて作成した統一の様式を用いて作成を行った。 提出された表紙部分の確認も経営企画課にて行い、マニュアル本体公開の可否や、記載内容については、原則各部署の意思を尊重しながら、必要に応じ修正を依頼することで、全部署からの回収が完了し、3 月 30 日にグループウェアで公開、その旨もインフォメーションで周知した。 なお、利用環境調査については、システムの導入を見送ったことに伴い、実施しなかった。
4	【事業名】 問題解決能力の向上を目指した教育体制の充実 【事業の概要】 1. 日本医学教育評価機構(JACME)による医学教育分野別評価受審対応を喫緊の課題として位置づけて、本学の教育改革を順次、推進する。	1. 現行カリキュラムの改定およびそれに伴う教育体制の見直しを行い、アウトカム基盤型教育の定着と学生が修めるべき学修の成果のマイルストーンの改定を行った。カリキュラムの改定では、段階的に臨床実習期間を延長し、2019 年度第 1 学年次の学生については、6 年間で 72 週の臨床実習期間を確保することとなった。診療参加型臨床実習では、受持ち患者のカルテ記載を義務付けるなど医学教育分野別評価に向けて、年度末までに対応できるところは完了している。

5	【事業名】 Hyogo Innovative Challenge 【事業の概要】 1. 2018 年度中に選定した上記研究テーマに基づき同年度中に採択した 5 つの研究課題に対して 1 件当たり 500 万円程度(外部資金の獲得状況等により変動)を助成する。 2. 当該計画遂行のために文部科学省のブランディング事業の後継事業はじめ公的資金、企業等からの研究助成金の獲得を図る。 3. 報告会及び学長、担当副学長、URA 等によるレビューとステアリングコミッティを実施する。 4. 学内外に向けた広報活動を実施する。	1. ・研究課題の採択は、学外 2 名を含む 7 名の評価者による採点とレビューボードによる議論により行い、公平性と透明性を担保した。 ・ステアリングコミッティ(2019 年 1 月 11 日開催、学長、研究担当副学長)で研究内容等を考慮し、下記の様に研究費の配分を決定した。 ・各研究者の配分金額は下記の通り。 小山教授:800 万円 藤田准教授:500 万円 五味教授:360 万円 中村助教:440 万円 榎本准教授:400 万円 古江教授:500 万円 ・予定通り、昨年 4 月より助成を行った。 ・藤田准教授については、退職のため 9 月末にてメンバーから外れた。 ・藤田准教授の研究課題の代替となり得る課題として、戴　解剖学神経科学部門　非常勤講師（兵庫医療大学　薬学部　教授）による「内臓知覚過敏に伴う脳内ストレスの分子基盤の解明」を学内外の評価者により採択した。本年 4 月より参加予定。 2. 公的研究費への申請: ・各研究者は、科研への申請済 ・AMED の「循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業」に応募済 （主任研究者:小山教授、理化学研究所、大阪市立大学、筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構との共同研究、2,000 万円／年 × 3 年間） 企業・自治体との連携: ・五味教授は、株式会社ジンズ社と共同研究を進めている。 ・小山教授は、AMED への申請に際し、下記の企業の協力を得ている。 株式会社 S’UIMIN 株式会社 FMCC(Fatigue and Mental Health Check Center) 株式会社疲労科学研究所 ・西宮市との連携 西宮市との面談、市民健康フェアへの参加(五味教授) HIC 事業と西宮市との連携「西宮健康プロジェクト」を立案中。 3. 1) キックオフミーティング(2019 年 2 月 12 日) ・学内のオープンな形でキックオフミーティングを実施した。 ・内部評価者として、学長と研究担当副学長、外部評価者として理化学研究所渡辺氏が参加した。 ・各研究者が、研究の概要と研究計画について発表した。 2) 研究者ミーティング(2019 年 9 月 10 日 17-19 時) ・主任研究者と課題研究代表者 5 名による進捗報告会を実施した。 ・倫理審査申請など準備を済ませ、予定通り研究を実施している。 ・ミーティングを通じ、新たな協力や共同研究を実施することとなった。 3) 報告会(2020 年 2 月 5 日 17-20 時) ・学内のオープンな報告会を実施した。 ・学長、研究担当副学長、その他約 40 名の先生方が参加した。 ・各プロジェクトが概ね計画通り進捗し、成果も上げており、事業継続に問題ないことをステアリングコミッティにて確認した。 4) 研究者ミーティング(2020 年 3 月 24 日) ・臨床系の研究者 3 名によるミーティングを実施した。 ・来年度の協力や計画について相談した。 ・倫理審査の変更申請を予定している。 4. ・広報課と連携し、HIC 事業専用の HP を作成した。 ・広報誌への掲載を行った(HIC 事業、研究者)。また、2020 年度版にも掲載予定で、準備を進めている。 ・URA の活動として、大学間あるいは企業との面談の際に、HIC 事業について紹介を行っている。 ・HIC 事業の成果として、論文発表を行った(小山教授、五味教授、榎本准教授)。なお、各研究者に報告書の作成と成果発表のリストを依頼中である。 ・成果については、HIC 事業の HP に掲載した(予定も含む)。

6	【事業名】 学生のドロップアウト防止、進級率アップ、薬学部国家試験合格率アップに向けた学習支援の強化 【事業の概要】 1. 教育支援室を主とした支援の推進 2. 多様な修学状況の学生に応じたフォローアップ 3. IR による入試、教学データのフィードバック 4. 薬剤師国家試験対策の強化 5. 薬学部を主とした入試・広報戦略の策定及び実施	1. FD・SD 開催回数 32 回:(FD25 回、SD7 回) 全学的な FD・SD として、成績評価に関する FD、学生の多様性を踏まえた教育に関する FD、シラバス作成 FD、ハラスメント講習会等を実施した。また、今年度は毎年実施している各学部・共通教育センターの FD に加え、各研究科の FD を実施し、教員の資質向上に向けた取り組みを行った。さらに、新たな取組みとして学生に授業評価結果の意見を聞く学生参画型 FD を実施した。今後も学生を交えた FD を実施することにより、教育の質向上に努める。 2. ・全学部留年率:7.5%(130 名/1,725 名) ・薬学部留年率:12.4%(115 名/931 名) ・全学部退学率:2.4%(42 名/1,725 名) ・薬学部退学率:3.9%(36 名/931 名) 初年次学生を支援する学修支援員制度については、2019 年度より廃止となり、看護学部及びリハビリテーション学部では、後期より担任がフォローアップすることになった。薬学部では、教員が 4～5 名の新入生を担当するアドバイザー制度において、ポートフォリオの作成やリーディングスキル課題、担当教員と週 1 回の面談を実施することにより、フォローアップを強化した。次年度も引き続き実施予定である。 補講については、短期的な科目合格率の向上にはつながっているが、4 年次の CBT 模試における物理系・化学系の得点率には大きな変化はなく中長期的な成果を出すまでには至っていない。また、今年度に開始した学生チューター制度についても、複数回活用した学生の合格率は高い傾向にあったが、制度を活用した学生が限定されている点は改善の必要がある。 3. 2018 年度後期 修学実態調査結果について、2019 年度に分析を行い、2019 年 9 月の大学協議会、2019 年 11 月の各学部教授会に分析結果(各学部への提言)を報告した。分析結果に対する各学部からの回答については、2020 年 1 月の教育支援室運営会議にてフィードバックした。また、2019 年度前期 修学実態調査結果についても分析を行い、今後、分析結果を各学部へ報告し、各学部からの回答を教育支援室にフィードバックする予定である。 2019 年度より修学実態調査を記名式にて行っているため、教務データと合わせた分析も行っている。 4. 国家試験合格率:83.9%　全国平均 84.8% 入学者数(2014 年度入学生)からの標準修業年限内の卒業率と国家試験合格率 6 年次在籍者数:142 人のうち(入学者数 159 名) ストレート卒業率:64.8%(卒業者数 103 名/入学者数 159 名) ストレート国試合格率:56.0%(合格者数 89 名/入学者数 159 名)※受験者数 103 名 国試講習会(週 3 回)および 9 月以降に全国模試を月 1 回受験することにより、進捗管理を強化した。また、6 年次後期の総合演習Ⅱおいて、成績基準を厳格化することにより、成績が芳しくない学生については、単位を付与せず留年とし、国家試験の受験資格を与えなかった。 薬学部のストレート国試合格率は、2010 年度入学生を底として、年々上昇(2010 年度生:23.3%、2011 年度生:27.5%、2012 年度生:39.0%、2013 年度生:44.4%、2014 年度生:55.9%、)していることから、在学中の教育支援が機能していると考えられる。 5. 入試全体の志願者数については全体で 3,577 名となり、目標数値の 123%となった。 薬学部の志願者数については 721 名となり 800 名の目標は達成できなかったものの、前年度の志願者数(715 名)を若干上回った(前年比 101%)。 ただし、試験全体の歩留まり率が昨年度 31.2%から今年度 26.8%に減少し、入学者確保が厳しい状態となった。結果として、一般入試においては、一般入学試験から可能な限り追加合格を行ったものの、150 名の定員を満たすことができなかった。

7	【事業名】 病院の効率的な運営に向けた改善策の実施 【事業の概要】 1. 病床稼働率の向上(重症度、医療・看護必要度Ⅱの 23%以上を担保) 2. 紹介・逆紹介患者の増加 3. 手術センター等の効率的運用 4. 病院職員数の適正化 5. レセプト査定率の低減・抑制 6. 医療経費の抑制・削減	1.■病床稼働率 89.3%以上の実現(収支・財務シミュレーション目標値 90.4%) ・病床(一般＋精神)稼働率(2019 年度実績):88.7%(前年度末累計 87.4%) ■特定入院料算定率の向上 ・ICU: 79.7%(前年度末 81.8%) ・NICU: 84.1%(前年度末 77.9%) ・GCU: 60.9%(前年度末 56.9%) ・MFICU: 65.4%(前年度末 69.0%) ・救急病棟: 30.5%(前年度末 9.9%) ・EICU・CCU: 58.2%(前年度末 50.7%) ※2019 年度より 2 床休床 算定患者数 3,104 人(前年度 2,853 人) ・SCU: 89.0%(前年度末 93.3%) ・HCU: 57.1%(前年度末 57.0%) ■重症度、医療・看護必要度の向上(7 対 1 入院基本料施設基準の維持) ・重症度、医療・看護必要度(Ⅱ):1 月:30.32%、2 月:29.17%、3 月:30.3% ※目標 23% 2.■紹介率:88.1%(前年度 88.3%)、逆紹介率:71.9%(前年度 64.6%) ■近隣医療機関との連携強化(新患獲得と転院先病院との連携強化) ・診療科による近隣医療機関訪問件数:41 件(上半期実績 23 件) 訪問件数上位診療科⇒①下部消化管外科(15 件)、②肝・胆・膵外科(12 件)、③小児科(9 件) ④小児外科(3 件) ※新型コロナウイルス感染防止のため、2 月中旬より訪問活動を自粛 ・医師会との勉強会実施回数※医師会毎に記載: 4 回(上半期実績 0 回) ※2019.10.24、2020.1.29 西宮市医師会(医療連携カンファレンス in 西宮(第 3、4 回)、2020.1.18 伊丹市医師会(第 16 回病診・病病連携の会)、2020.2.22 神戸市東灘区医師会(第 20 回病診連携学術集談会)を実施 ■市民健康講座(院内)、市民健康フォーラム(院外)、阪神沿線健康講座の開催 ・市民健康講座(院内):11 回実施、 722 人参加 ※3 月実施分は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・市民健康フォーラム(院外):1 回実施、 235 人参加 ・阪神沿線健康講座:3 回実施、 275 人参加 ※第 21～23 回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ■登録医制度の拡大 ・武庫川クラブ会員数:1,734 人(前年度末 1,685 人) ・武庫川クラブ会員からの紹介件数:11,576 件(前年同月比 109%) 3.■手術センター、アイセンター、IVR センター、内視鏡センター等の稼働状況の調査・分析結果に基づく改善 ・手術センター手術件数:6,510 件(前年度比 101.2%) 2020 年 3 月累計実績 ・アイセンター手術件数:3,999 件(前年度比 105.2%)2020 年 3 月累計実績 ・IVR センターIVR 件数:3,994 件(前年度比 93.3%)2020 年 3 月累計実績 ・TV センター検査件数:6,404 件(前年度比 101.8%)2020 年 3 月累計実績 ・内視鏡センター検査・手術件数:15,053 件(前年度比 98.8%)2020 年 3 月累計実績 4.・病棟看護師の負担軽減、看護補助夜間配置加算取得に向け、非常勤看護補助を 64 名採用。(12 月より診療報酬算定開始。2,000 万/月) ・医師事務作業補助者を 7 名増員(採用は次年度) 5.■院内保険診療委員会の機能強化 院内保険診療委員会の開催頻度の変更、年 4 回→年 8 回〔講習会含む)に変更し、特に査定率の高い診療科については別途、社保、国保の審査医を担当されている医師を交え査定対策等の検討会を開催した(7 月:脳神経外科実施、10 月血液内科開催) ※ 全体査定率 0.86%(前年度;0.99%)0.13%の改善 ※ 面談件数 4 月～1 月 外来面談 1 件(前年度 0 件)、再審査 388 件(前年度 326 件)※面談申請 3 件するも審査機関から申し出があり、書面で再審査 2 件復活、1 件は中央と兵庫で審議中 4 月～1 月 入院面談 4 件(前年度 1 件)、再審査 137 件(前年度 118 件)※面談 4 件中 3 件復活

7		■レセプト点検体制の強化 各担当が一診療科でなく複数の診療科を担当できるようグループ制を推進するも完了しておらず(7割完了)、また医事システムの更新、点数改正対応も加わったため、点検強化のダブルチェックまで至らなかった。 次年度の継続課題としたい。 6. ＊対収入比率(収支状況表)の抑制　2019 年 2 月時点の実績 2019 年度実績 ・医療材料比率(対医療収入):　13.2%(前年度末 12.6%) ・償還材料費(対医療収入):　7.2%(前年度末 6.8%) ・医療消耗品費(対医療収入):　6.0%(前年度末 5.8%) →エネルギーデバイスや自動縫・吻合器の使用量増加は継続、ダビンチ消耗品も実施症例の増加に伴い増加、前年比+0.6%(償還材料+0.4%、消耗品+0.2%)で推移している。 ・薬品比率(対医療収入):　29.2%(前年度末 28.0%) →高額医薬品の使用量増加が継続、12 月から薬価 3,400 万円あまりのキムリアの投与も開始され、前年比+1.2%で推移している。 (医薬品購入額は増加しているが、差益としては納入価格交渉により、薬価ベースで年額 6,400 万円あまりが、昨年比で増額となっている。) →後発医薬品指数(後発医薬品の数量／後発医薬品のある先発医薬品の数量＋後発医薬品の数量)2019 年度:　88.5%(前年度　88.5%) →指数 85%は問題なく維持している。 薬剤部と連携し、7 品目の後発品見直し、他メーカーへの切り替えと 4 品目の先発品から後発品への切り替えを実施、薬価ベースで前年比約 2,000 万円コストダウンとなっている。
8	【事業名】 がん診療の充実 【事業の概要】 1. 小児がん診療体制の確立 2. がんに関する各種情報の収集、提供等の機能の充実、がん患者・家族等に対する相談支援 3. がんセンター組織の拡充	1. ・小児・AYA がん tumor board 開催回数:0 回 対象患者実人数:7 人(対象診療科　小児外科、整形外科、泌尿器科　) ・小児がん診療体制の整備状況→兵庫県小児がん診療拠点病院に指定 2. ・相談件数:1,721 件(うち就労支援にかかるもの:382 件(172 人)) →療養・就労両立支援指導:101 件(うち指導料算定:0 件) 50 名以上の従業員がいる事業場の産業医からの意見書に対する返信が得られず、指導管理料の算定が出来ない。療養・就労両立支援指導の関しては、患者の治療上の療養生活の視点から、治療と仕事の両立お役立ちノートを用いて介入した件数が、101 件である。令和 2 年度診療報酬改定により「療養・就労両立支援指導料」の算定基準、「相談支援加算」の＋α50 点の改定があったことより、次年度は、診療報酬に結びつく支援・指導に結びつくと考える。 3.・先進医療実施件数:計 7 件 ・エキスパートパネル開催回数:7 回 ・人員体制も含めた組織体制の強化状況 →厚生労働省からの補助金を得て、CRC1 名を配置した。

9	【事業名】 地域と連携し、市民に開かれたキャンパスづくり 【事業の概要】 1. 救急受入れ件数・率の増加 2. 地域医療機関との連携 3. 地域住民への情報発信	1. ・時間内救急受入件数:268 件(前年:265 件)受入率:96.3 %(前年:88.3%) 2018 年度時間外救急受入件数→依頼件数:3,106 件 受入件数:2,767 件 受入率:89.1% 2019 年度時間外救急受入件数→依頼件数:2,998 件、受入件数:2,663 件 受入率:88.8% ・症例検討会・意見交換会開催回数:3 回 【内訳】 ①新生児蘇生法講習会 ②丹波篠山市消防本部との救急トリアージ講習会 ③JR篠山口駅でのお客様救済合同訓練参加 2. ・紹介件数:1,997 件 (前年度 2,157 件) ・逆紹介件数:2,184 件(前年度 2,340 件) ・レスパイト入院件数:28 件(前年度 21 件) ・地域医療機関からの依頼件数 CT:278 件(前年度 269 件)、MRI:280 件(前年度 254 件)、 骨密度:12 件(前年度 51 件)、心エコー総件数:940 件(前年度 1,027 件)、 マンモグラフィー総件数:1,008 件(前年度 1,001 件)、 トレッドミル総件数:72 件(前年度:84 件) 3. ・健康長寿教室の開催回数:36 回 ・出前講座の開催回数:4 回 ・ささやま医療センター運営協議会の開催:0 回

2. 法　　人

○ 創立 50 周年を機に新たな兵庫医科大学が誕生（予定）

本法人内にある兵庫医科大学と兵庫医療大学を統合し、創立 50 周年にあたる 2022 年 4 月に、新たな医療総合大学の誕生をめざす。

法人設立の翌年、1972 年 4 月に「兵庫医科大学」を開学。さらに、将来的な医療のあり方や、医学部教育の実績を積み重ねてきた本法人の役割・責任を踏まえ、2007 年には「チーム医療」をコンセプトとして、薬学部・看護学部・リハビリテーション学部を擁する「兵庫医療大学」を設立した。その後 12 年余を経過し、多くの医療機関に有為な医療人を輩出するとともに、教育・研究基盤も拡充し、医療系大学として一定の評価を得るまでに成長してきたが、将来展望を踏まえて熟慮を重ねた結果、

- 質の高い医師、医療職者を養成するための教育・研究体制の充実、および教育の質の向上
- 法人運営および組織体制の強化
- 「医療総合大学」としての認知度および評価の向上

などの今後本法人に求められるあらゆる点から、兵庫医療大学の 3 学部 3 研究科を兵庫医科大学の学部・研究科とすることにより 2 大学を統合し、「医学部」「薬学部」「看護学部」「リハビリテーション学部」それぞれにおける教育を、従来以上に緊密な連携のもとに実施することが必要という結論に至った。

なお、2 大学の統合計画は、現在文部科学省への申請準備中のため、状況などにより変更となる場合がある。

○ 教育研究棟が優秀な照明施設として「照明普及賞」を受賞

西宮キャンパスにある教育研究棟が、一般財団法人照明学会による「照明普及賞」を受賞した。この賞は、施設の企画、設計、施工などに多大な功績のあった法人などに与えられるもので、今回、照明技法や照明効果などの観点から評価され、2018 年度の地域を代表する照明施設として表彰された。2019 年 6 月 14 日には、東京大学にて表彰式が行われ、一般財団法人照明学会 豊島 久則会長より表彰状と記念盾が授与された。

○ 人　　事

1. 働き方改革の推進

2019 年 4 月に施行された労働基準法改正により、事業所（使用者）に対して「10 日以上年次有給休暇が発生する労働者には、5 日以上取得させること」が義務化されたことに伴い、取得促進の啓蒙活動を行った結果、ほぼ 100％の達成率となった。

また、働き方改革の一環として 2020 年 4 月から同一労働同一賃金に関する法改正が行われたことに伴い、待遇ごとに検討を行うとともに各所属にアンケート調査を行い、一部ヒアリングを実施したうえで不合理な待遇差を解消するよう体制を整備した。

2. 人事考課制度の見直しによる処遇への反映

人事考課制度の処遇への反映について、事務局職員の人事考課の検証を行った結果、現在の人事考課内容を今年度中に改正のうえ試行し、2020 年度から人事考課制度の本格運用を開始、2021 年度より処遇へ反映させるため、給与規程等の改正を行い、2020 年度からの本格運用に向けて体制を構築した。

また、医療技術職の職制及び職員評価・処遇の変更についても見直しを行い、各職種の能力、モチベーションを最大限に引き出すための環境を整備した。

3. 篠山採用者と西宮・神戸採用者における処遇差の見直し及び地域限定職員の導入

職員のモチベーション向上や人材確保に寄与することを目的として、各処遇差や格差の見直しを行った。今後、本学においても各人の働き方の多様化やキャリアに対する考え方の変化に柔軟に対応し、優秀な人材を確保していく必要があるため、自らの意思で就業地域を選択できる仕組みとして「地域限定職員」の制度を導入した。

4. 事務局職員の人材育成及び研修・自己啓発活動の活用

事務局職員の人材育成計画推進の一環として、例年どおり昇任時研修を開催し、課長補佐職昇任者 1 名、係長職昇任者 5 名、主任職昇任者 12 名が受講した。当該研修については、従来前編・後編共に外部講師に委託していたが、2019 年度より、後編は人事部主導とし、人事部が直接関与していく方針に変更した。また、後編終了後には、今後の研修実施の参考のため、昇任者及びその上長に対して個別面談を実施し、本研修に対する振り返りや自己評価、フォロー状況、今後の課題等のヒアリングを実施した。

また、研修・自己啓発に関する活動状況を幅広く情報収集し、人事部個人データベースに記録することにより、人事異動・評価の施策に活用する体制を構築した。

5. キャリアチャレンジ制度の導入

事務局職員が、プロフェッショナルとして専門性を高めていくために、職員が自らの適応・能力等を把握・認識し、キャリア形成や能力向上において自らの意思や希望でその実力を発揮できるフィールドを選択できる仕組みが必要である。また、国家資格を有する医療技術職についても、業務で得た経験や知識を、事務局職員への登用を通じて従来とは異なる病院運営への関わりにより、新たなやりがいの創出や各人の働き方の多様化、キャリアに対する考え方の変化に柔軟に対応していくことを目的に本制度を導入した。2019 年度は医療技術職からの希望はなかったものの、2 名の事務職員に本制度が適用された。

○ 内部監査室

1. 業務・会計監査の実施

① 定例監査　医科大学の公的研究費（2018 年度執行分）
② 定例監査　医療大学の公的研究費（2018 年度執行分）
③ 文書管理
④ 知的財産管理
⑤ 医科大学の入試業務
⑥ 諸費支出による調達
⑦ 委託業務等の契約更新に係る手続き

2. 監事、監査法人との連携・情報の共有

① 三様監査連絡会（監事および監査法人と情報交換の開催）　3 回（5 月、10 月、3 月）
② 監事会オブザーバー参加　12 回（毎月）
③ 決算監事会参加（5 月）
④ 監査法人の監査計画、監査覚書説明会参加（10 月）

○ 補助金

2019 年度 私立大学等経常費補助金について、下表のとおりの概算交付があった。

（単位：千円）

	一般補助	特別補助	合計	（参考）	
				2018 年度	2017 年度
兵庫医科大学	1,501,321	97,446	1,598,767	1,866,014	1,459,062
兵庫医療大学	373,323	29,093	402,416	431,665	516,777
合計	1,874,644	126,539	2,001,183	2,297,679	1,975,839

○ ダイバーシティ推進

1. 運営体制の強化

兵庫医科大学長のリーダーシップのもと、兵庫医療大学長、兵庫医科大学病院長、ささやま医療センター病院長、医療人育成研修センター長、看護部長、事務局長で構成する男女共同参画推進本部に、人事担当理事および下部組織であるダイバーシティ推進室長を加え「ダイバーシティ推進本部」として改組した。

学長補佐をリーダーに据えたダイバーシティ推進室には、新たに「キャリア支援部門」「環境整備部門」の 2 部門を設置。各部門に、課題に応じて職種混合で構成するワーキングチームを設置することで横の連携を強化し、トップダウンとボトムアップの好循環を意識した運営体制を構築した。

2. 広報活動

医学生・研修医に向けたロールモデル集「自分らしく働こう～医師として働きつづけるために」を発行。本学卒業後、兵庫医科大学病院で活躍する医師の経験談とメッセージを掲載した。

3. セミナー・研修等

開催日	タイトル	講師／パネリスト	参加人数
8 月 29 日（木）	SD 研修「アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）について考える」	NPO 法人 SEAN 小川 真知子 氏	20 名
9 月 19 日（木）	講演会「アンガーマネジメント＆アサーティブコミュニケーション～自分の怒りの感情を理解し、どう伝えるか～」	広島大学 教授 蓮沼 直子 氏	103 名
9 月 21 日（土）	育児応援セミナー 「みんなで話そう！子どもとのコミュニケーション」	本院 小児看護専門看護師	16 名
11 月 18 日（月）	管理職のための働き方改革セミナー「誤解されやすいダイバーシティ経営：働き方改革と管理職の役割」	中央大学ビジネススクール 教授 佐藤 博樹 氏	40 名
11 月 25 日（月）	パパのための育児応援セミナー（パネルディスカッション）	本院男性職員 5 名	15 名
2 月 15 日（土）	育児応援セミナー「こどもの“食育”って、どんなこと？」	本院 主任管理栄養士	10 名

4. 保育事業利用実績

	延利用者数	対前年度
病児保育室	92 名	209.1%
保育園ポポラー本学専用枠	448 名	106.4%
夜間保育	234 名	-
祝日開院日（全 5 日）	82 名	-

○ 学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院

1. 学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院 第 7 回学術シンポジウム

2019 年 6 月 11 日（火）、神戸商工会議所 神商ホールにおいて、学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院「第 7 回学術シンポジウム」を開催した。このシンポジウムは学校法人兵庫医科大学と提携校である北京中医薬大学が隔年ごとに主催し、2019 年度は日本で「兵庫医療大学薬学部東洋医薬部門第 3 回国際シンポジウム」との共同開催とした。

第 1 部 講演 テーマ:「東西医学の融合」

1. 基調講演 「中医薬方剤の総合的薬理学研究」
   北京中医薬大学中薬学院 教授 唐 民科
2. 招聘講演 「漢方薬による食物アレルギーの治療―葛根湯を用いた新規治療法の開発―」
   富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 門脇 真

座 長 ： 兵庫医療大学学長 藤岡 宏幸

第 2 部 パネルディスカッション テーマ:「東西医学の比較検討～ストレスに打ち勝て～」

シンポジスト ： 北京中医薬大学東方病院眼科 教授 周 剣
北京中医薬大学東方病院脾胃肝胆科 教授 王 林恒
兵庫医科大学内科学糖尿病・内分泌・代謝内科 主任教授 小山 英則
兵庫医科大学眼科学 主任教授 五味 文

座 長 ： 学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院学院長 三輪 洋人

2. 中医学入門講座

2019 年度新規講座として本学院 金 光亮 副学院長による、一般市民を対象とした「中医学入門講座」を開講した。中医学の基本理念・基本理論・基本的な考え方などを 5 つのテーマに分け全 9 回で学ぶ。定員 25 名の募集に対し 70 名を超える申込みがあり、急遽、定員を増やすほど人気の講座となった。

3. 一般市民を対象としたイベント

タイトル	開催回数	延参加者人数
交流サロン「中医学の視点から市販の漢方を選ぼう」	9 回	307 名
切り絵講座	5 回	70 名
市民健康講座	4 回	143 名
孔子学院の日	1 回	50 名

○ 医療人育成研修センター

1. 医療従事者に対する各種研修

2019 年度事業計画に基づき、チーム医療の基本理念を踏まえ、多職種連携のチーム医療研修、医療従事者個々のスキルアップを考えた研修、連携病院の会会員病院を中心とした地域の医療従事者を対象にしたキャリア形成支援研修等を実施した。また、学内外に向けて共用カンファレンスルームならびにシミュレーションセンターの貸出しを実施した。

2. 医療大学学生の実習・研修

兵庫医療大学 学生の本院での実習における活動拠点としての機能を果たした。兵庫医療大学大学院生の講義支援、シミュレーションセンターの運営等を行い、医療人育成への幅広い取り組みに加えて臨床研修医の卒後臨床研修の強化・充実につながるスキル研修等を実施した。

3. 医学部学生の各種実習

医学部学生の早期臨床体験実習Ⅰ、エスコート実習、学外臨床実習、自由選択実習に加えて2019 年度より新たに、第 4 学年次学内臨床実習の運用を開始し、卒前・卒後のシームレスな医師養成体制を構築した。また、独自にシミュレーション実習ならびにホスピス実習を開始した。

4. 認定看護師教育課程

前年度に続き、2019 年 10 月 1 日より認定看護師教育課程手術看護分野を開講し、翌年 3 月 25 日に第7期研修生 19 名が本課程を修了した。

なお、同課程研修生に係る公益社団法人日本看護協会認定看護師認定審査試験については、2019 年 5 月 16 日に実施され、第 6 期研修生 29 名（2018 年度修了者）及び再受験者 11 名（2017 年度修了生）が受験し 34 名が合格した。

5. 看護師特定行為研修課程

2019 年 12 月 1 日より看護師特定行為研修課程を開講し、第 4 期研修生 3 名が研修中である。

また、2019 年 2 月 1 日開講の第 3 期研修生は 1 年 2 ヶ月の研修期間を経て 2020 年 3 月 24 日に 5 名が本課程を修了した。

6. 卒後研修

専任教員を配置することで、臨床研修医の卒後研修について充実が図られ、マッチングの結果は、前年度に続き 2019 年度もフルマッチであった。また、2019 年度臨床研修医採用試験の際に、臨床実習の指導者や患者からのアンケート評価による学修内容を、選考基準に取り入れたことで、学内における成績上位者の採用率 50%以上を達成した。

○ 情報センター

電子カルテを中心とした病院情報システムのハードウェア更新について、2019 年 12 月 28 日～29 日の両日で、計画どおり完了した。また、次年度更新予定の各システムについて、ハードウェア構成、仮想化構成、オペレーティングシステム変更に伴う影響等を、メーカー、ベンダーと協議し、更新計画を策定した。

1. 今年度予算執行業務

(1) 病院関連

① 病院情報システムハードウェア更新(電子カルテ、医事会計、内視鏡、微生物、病理、輸血、自科検査)
② 病院情報システム元号変更対応
③ むこねっと検査レポート公開拡張対応
④ カルテ・フィルム管理システムの移行

(2) 法人関連

① 財務システムハードウェア更新
② 人事システムクライアント端末更新

(3) ネットワーク関連

① 病院情報システムネットワーク幹線複線化
② 仮想基盤用バックアップ装置の更新

2. 他部門支援業務

① 篠山・神戸キャンパスの情報システム運用管理支援
② グループウェア活用支援
③ キャッシュレス化検討支援
④ RPA 検討・導入支援
⑤ 次年度情報システム関連予算策定支援

○ 物流センター

1. 物流管理業務の改善と医療材料経費の抑制

SPD による手術の詳細な消費データ(診療科別、症例別)を抽出し、医療材料等の消費情報取扱いに係る打合せを実施した。データを分析し、他学と比較することで各診療科の特徴を顕在化させ、病院部門との連携により、器材消費の見直し及びコスト削減を図った。

2. 医療用消耗品を中心とした納入卸寡占状況のシェアバランス改善、価格低減の推進

商品卸のシェアバランス改善を企図した SPD による商品仕入参入について、物流センターと協働のもと、SPD の納入シェアは約 18%、全納入業者で 3 位のシェア率となった。このスケールメリットを活かし、年間で 20,000 千円余りのコスト削減効果(当初の目標△18,500 千円)があり、さらに SPD のベンチマークをもとに削減交渉や医療材料の切り替えを行い、消耗品を中心として SPD の低減額と併せ年間で約 30,000 千円購入経費を削減した。

○ 兵庫医科大学保健管理センター

1. 健康診断

【教職員】健康医学クリニックで実施した。各健康診断の実施延人数は次のとおり。

- 定期健康診断:3,032 人、・深夜業務従事者健康診断:703 人
- 海外派遣従事者健康診断:1 人、放射線特殊健康診断:1,199 人
- 有機溶剤特殊健康診断:63 人(希望者全員)
- 特定化学物質特殊健康診断:71 人(希望者全員)

【医学部学生・大学院生】健康医学クリニックで実施し、医学部新入生には心臓健診も行った。医学部学生 702 人、大学院生 6 人の計 708 人が受診した。

2. 感染対策

(1) 風疹、麻疹、水痘、ムンプスワクチン接種マニュアル(兵庫医科大学 学生版)を策定し、2020 年度の新入生からこれに基づき実施することとした。

(2) 新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、職員及び学生への海外渡航等の禁止通達、渡航者把握後の体調管理、接触者の管理及び体調管理等を実施した。

3. ストレスチェックの実施

今年度も、厚生労働省が公表した指針に基づき、心理的な負担の程度を把握するための検査「ストレスチェック」を外部機関に委託のうえ、Web 方式で 11 月に実施した。

3 キャンパス全ての職員を対象に実施し、実施率は全体で 81.6%、西宮キャンパスは 81.3%であった。このうち高ストレス者は全体で 16.6%、西宮キャンパスは 17.1%であった。西宮キャンパスの昨年度高ストレス者は 17.6%であり昨年度より減少した。

分析結果等について 2020 年 2 月 27 日開催の安全衛生委員会、2020 年 3 月 17 日の常務会で報告を行った。

4. 学生保健室の来室状況報告

学生保健室の来室者延数、相談内容別、対応区分別、臥床人数等を学生保健室報告としてまとめ、学生部委員会への報告を2019年7月から開始した。

5. 職員相談室

(1) 相談件数の増加に伴い、開室日を週 2 日から週 3 日に拡大した。

(2) 3 月 13 日に 9 号館 5 階から 10 号館 10 階に移転した。

6. その他

「健康情報等に関する取扱い規程」を制定し、健康情報等を取り扱う目的、方法、権限等について定めた。

7.　セミナー・研修等

開催日	タイトル	講師	参加人数
①　7月1日（月） ②　11月20日（水）	メンタルヘルスセミナー 「セルフケア」 「レジリエンスを高めよう」	原田　久仁美　相談員	① 28名 ② 27名
8月1日（木） ～9月30日（月）	健康チャレンジキャンペーン	-	355名
7月11日（木）	メンタルヘルスセミナー 「ラインケア」 「管理職向け感情マネジメント向上研修」	株式会社アドバンテッジリスクマネジメント 久樂　由美子　氏	30名
7月31日（水）	美トレーニング「-10歳の体をつくるプロジェクト」	湊川短期大学 上田　恵子　准教授	28名
9月20日（金）	生活習慣病予防セミナー 「兵医　DE　ヨガレッスン」	フィットネスライフスタジオカレン 松井　カレン　氏	32名
2月13日（木）	メンタルヘルス研修「ラインケア」 「休みだした職員への対応」 ～ストレスを知り、ストレスをコントロールする～	一般社団法人日本産業カウンセラー協会 関西支部 三上　嘉代子　氏	30名

○　施設整備

1.　西宮キャンパス

(1)　土地・建物の状況　　26 ページ参照

(2)　建物・設備等の主な改修及び更新

①　小松グランド倉庫棟（学生用アーチェリー練習場東側旧部室）　解体工事
（木造　2階建て　床面積 195.09 ㎡）

②　1・2 号館空調設備各所配管更新工事

③　急性医療総合センター　免震オイルダンパー交換工事

④　ピュアハイツ小松東　売却

2.　篠山キャンパス

(1)　土地・建物の状況　　27 ページ参照

(2)　建物・設備等の主な改修及び更新

①　ささやま医療センター　学生宿舎新築工事　着手
（木造　2 階建て　床面積 680.29 ㎡　居室 30 室）

②　西宮キャンパスと篠山キャンパス　病院情報ネットワークの VPN 回線による接続

3.　神戸キャンパス

(1)　土地・建物の状況　　27 ページ参照

(2)　建物・設備などの主な改修及び更新

①　G 棟アリーナ空調機設置工事

②　M,G 棟　屋上外壁改修工事

③　職員及び来客用駐車場ゲートの更新

○　新病院建設

新立体駐車場・デッキ棟について、2019 年 9 月に着工した。

土地・建物の状況

○ 西宮キャンパス

建物区分	規模・構造	延床面積 登記(㎡)	使用区分	所在地 及び 敷地面積(㎡)
1 号 館 (校舎・病院)	SRC・S造 地下 1階 地上 13階 塔屋 2階	43,134.11	病院、臨床系研究室	武 庫 川 町 20,574.02
1号館附属棟 (事務所、食堂)	S造 4階	1,602.48	病院管理部門、食堂、売店	
2 号 館 (校舎・病院)	RC造 6階 塔屋 1階	5,563.50	病院、臨床系研究室、学生自習室	
教育研究棟 (校舎・講堂)	S造 12階 塔屋 1階	30,827.24	講義室、学生実習室、管理部門	
小 計 (西側敷地)		81,127.33		20,574.02
8 号 館 (校舎・病院)	SRC・S造 地下 1階 地上 8階 塔屋 1階	12,694.74	病院、臨床系研究室	武 庫 川 町 20,355.75
9 号 館 (研究室)	RC造 5階 塔屋 1階	11,526.38	基礎系研究室、共同研究室、講義室	
10 号 館 (病院)	SRC造 地下 1階 地上 10階 塔屋 1階	18,744.41	病院、管理部門	
急性医療総合センター (病院)	RC造 7階	15,239.17	病院	
立体駐車場 (車庫)	S造 8階	12,164.53	立体駐車場、車庫	
廃液処理棟 (廃液処理棟)	RC造 1階	192.00	実験用廃液処理	
資 料 室 (資料室)	S造 2階 塔屋 1階	2,717.76	病院(MRI室)、病歴資料室	
機械室 (機械室)	RC造 1階	125.81	塵芥置場	
マニホールド室 (配管室)	S造 1階	15.37	マニホールド室	
そ の 他		137.73	5号館～9号館、MR棟～2号館渡り廊下(未登記)	
小 計 (東側敷地)		73,557.90		20,355.75
平成記念会館 (講堂・体育館)	SRC造 地下 1階 地上 3階	5,642.92	体育館、部室、クラブハウス、講堂	小 松 南 町 6,869.00
アーチェリー練習場他			アーチェリー練習場、ゴルフ練習場	小 松 南 町 3,575.05
大学会館等 (学生会館)	S造 2階	531.57	食堂	池 開 町 452.89
留学生宿舎	W造 2階	89.01	宿舎	池 開 町 78.08
診療所 (健康医学クリニック)	RC造 3階	1,488.88	診療所	池 開 町 516.04
PETセンター (病院)	RC造 4階	1,856.80	病院	池 開 町 1,048.34
総合グラウンド			野球場・陸上競技場他	鳴 尾 浜 33,064.00
クラブハウス等 (クラブハウス)	S造 1階	498.85	クラブハウス(498.85)、倉庫等	
救護室	S造	70.07	救護室	
東鳴尾テニスコート			人工芝テニスコート3面	東 鳴 尾 町 2,706.70
東鳴尾テニスコート更衣棟	CB造	47.55	更衣室	
総合研修棟 (校舎)	RC造 7階 塔屋 2階	2,632.79	スキルスラボ、カンファレンス、図書室、事務室	武 庫 川 町 829.77(借地)
小 計		12,858.44		48,310.10
合 計		167,543.67		89,239.87

土地・建物の状況

○ 篠山キャンパス

建物区分	規模・構造	延床面積登記(㎡)	使用区分	所在地及び敷地面積(㎡)
ささやま医療センター(病院)	RC造 4階	11,634.22	病院	丹波篠山市 郡家字八ノ坪 黒岡字よし池ノ坪 黒岡字葭池ノ坪 敷地面積(㎡) 17,037.70 丹波篠山市 山内町 黒岡字土井西池ノ坪 黒岡字西池ノ坪 借地面積(㎡) 19,825.14 (丹波篠山市より無料貸与)
倉庫(倉庫)	CB造 平屋建	52.50	倉庫	
病院	S造 地下1階 平屋建	1,089.33	病院	
宿舎棟(寄宿舎)	RC造 2階	182.92	学生宿舎(12戸)	
宿舎棟(寄宿舎)	RC造 2階	92.16	学生宿舎(6戸)	
倉庫5(休憩室)	RC造 平屋建	219.80	倉庫	
倉庫7(集会所)	SP造 平屋建	33.80	倉庫	
宿舎棟(共同住宅)	RC造 2階	229.70	教職員宿舎(4戸)	
宿舎棟(共同住宅)	RC造 4階	459.40	教職員宿舎(8戸)	
看護師宿舎棟(寄宿舎)	RC造 5階	1,214.71	宿舎(36戸)、ポンプ室、	
研修医棟(寄宿舎)	RC造 4階	695.08	宿舎(15戸)、管理室、図書室、	
リハビリテーションセンター(リハビリテーションセンター)	RC造 平屋建 1部 S造	1,650.13	理学療法室、作業療法室、	
老人保健施設(老人保健施設)	RC造 4階 塔屋	4,361.29	事務室、食堂、浴室、他	
篠山キャンパス看護師宿舎(共同住宅)	RC造 3階	869.65	宿舎(28戸)	
合計		22,784.69		36,862.84

○ 神戸キャンパス

建物区分	規模・構造	延床面積登記(㎡)	使用区分	所在地及び敷地面積(㎡)
P棟(校舎)	SRC造 3階	8,753.86	管理部門、講堂、図書館、食堂、売店、グループ学習室、保健室	神戸市中央区港島 49,138.00
M棟(校舎)	SRC造 4階	17,025.71	講義室、学生実習室、教員研究室、カンファレンス室	
G棟(校舎)	SRC造 4階	9,296.26	研究室、動物実験室、RI実験室、共同医学研究室、リハビリテーションラボ、教員研究室、カンファレンス室、学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院研究室	
G棟アリーナ(体育館)	RC造 2階	2,792.26	アリーナ、部室、多目的室	
倉庫(倉庫)	RC造 平屋建	125.06	倉庫	
守衛室(守衛所)	RC造 平屋建	4.20	警備員詰所	
合計		37,997.35		49,138.00

3. 大　　学

○ 顔認証システムで出欠確認を開始

2019 年 4 月 5 日より「顔認証機能搭載端末を用いた学生出欠管理システム」の本格利用を開始した。本システムは、専用のタブレット端末により学生本人の顔を認証することで、正確かつスピーディーに出欠確認を行うことが可能である。

教務システムと連動させており、教員がリアルタイムで学生の出席状況を確認できるため、欠席が続く学生の健康状態やメンタル状態の管理を含め、ドロップアウトを未然に防ぐとともに、教職員が出欠管理に充てる業務時間の削減にも繋がる。

○ グローバルに活躍できる人材育成を目的に「国際学術シンポジウム」を開催

2019 年 10 月 8 日、学術協定校である天津医科大学と「国際学術シンポジウム」を開催した。このシンポジウムは、グローバルに活躍できる専門職の育成や、両大学の学術情報の交換を目的に毎年開催している。13 回目となる今年のテーマは“Cardiovascular disease（循環器疾患）”。天津医科大学の Dr. Zhelong XU（学部長、生理学・病態生理学教授）と Dr. Tong LIU（心房細動センター長）、兵庫医科大学の坂口太一主任教授（心臓血管外科）と朝倉正紀教授（循環器・腎透析内科）が講演し、学部学生、大学院生、教職員総勢 130 名を超える聴衆が参加した。

○ 「中学生のための模擬授業」を開催～医学教育を早くから体感～

2019 年 6 月 2 日、中学生を対象とした「中学生のための模擬授業－ようこそ医科大学へ－」を開催した。本イベントは医学部に興味を持っている中学生に兵庫医科大学の授業を体験してもらう企画で、昨年度より開催している。今年も募集定員約 30 名のところ 100 名を超える応募があった。
医学部の自然科学実習体験として「アスピリン（解熱鎮痛剤）を作ろう！」「光学顕微鏡を使った細胞分裂の観察」を行い、参加した中学生は本学の学生が実際に使用している実習室で、緊張しながらも、積極的に取り組んでおり、「今回の授業で、医学部へ進学したくなりました」などの感想が寄せられた。

○ 問題解決能力の向上を目指した教育体制の充実

医学・医療のグローバル化に対応し、本学の医学教育について国際基準による質保証を受けるため、2020 年 7 月に日本医学教育評価機構（JACME）による医学教育分野別評価を受審する。その対応として、2019 年度は、カリキュラム評価委員会の新設、学修成果作成委員会、カリキュラム委員会、カリキュラム評価委員会、教務委員会が PDCA を回すにあたり、それぞれの機能・役割の明確化と実質化を進めた。また、現行カリキュラムや教育体制を見直し、学修成果・マイルストーンの改定、72 週への増週を含む臨床実習の充実、卒前教育と卒後研修のシームレスな連携、アウトカム基盤型教育の推進など教育改革を実施した。2020 年 3 月に JACME への自己点検・評価報告書の提出が完了した。

○ 2020 年度 医学部入学試験

2020 年度入試では、一般入試は従来型の一般入試 A4 科目型と、導入 2 年目となる一般入試 B 高大接続型を実施し、推薦入試は一般公募制推薦入試、地域指定制推薦入試及び特別選抜推薦入試を実施した。また、2020 年度入試より、高大接続改革の趣旨に鑑み、受験生を多面的・総合的に評価するため、面接と調査書の点数化を実施した。

1. 推薦入学試験

① 募 集 人 員 ： 一般公募制 約 12 名（特別選抜推薦入試を含む）
地域指定制 5 名以内

② 選 抜 方 法 ： 基礎学力検査、小論文、面接、調査書等を多面的・総合的に判定

③ 試 験 日 ： 2019 年 11 月 17 日（日）

④ 合格発表日 ： 2019 年 11 月 25 日（月）

⑤ 出願者数等 ：

区分	一般公募	地域指定	特別選抜
出願者	58 名	36 名	2 名
合格者	10 名	5 名	2 名

2. 一般入学試験A4 科目型

① 募 集 人 員 ： 約 85 名

② 選 抜 方 法 ： 学科試験、小論文、面接、調査書等を多面的・総合的に判定

③ 試 験 日 ： 第 1 次試験 2020 年 1 月 29 日（水）
第 2 次試験 2020 年 2 月 7 日（金）又は 2 月 8 日（土）の選択制

④ 合格発表日 ： 第 1 次試験 2020 年 2 月 5 日（水）
第 2 次試験 2020 年 2 月 14 日（金）

⑤ 出願者数等 ：

区 分	人 数
出 願 者	1,796 名
第 1 次試験合格者	435 名
第 2 次試験合格者（正規）	142 名

3. 一般入学試験 B 高大接続型

① 募 集 人 員 ： 約 10 名

② 選 抜 方 法 ： 学科試験、小論文、個人面接、課題型面接、調査書、英語資格検定試験等を多面的・総合的に判定

③ 試 験 日 ： 第 1 次試験 2020 年 1 月 29 日（水）
第 2 次試験 2020 年 2 月 17 日（月）

④ 合格発表日 ： 第 1 次試験 2020 年 2 月 14 日（金）
第 2 次試験 2020 年 2 月 26 日（水）

⑤　出願者数等 ：

区　　分	人 数
出　　願　　者	273 名
第 1 次試験合格者	87 名
第 2 次試験合格者(正規)	10 名

4.　入学者数

区　　分		人 数
入学者	一般公募制推薦入試	10 名
	地域指定制推薦入試	5 名
	特別選抜推薦入試	2 名
	一般入試 A4 科目型	85 名
	一般入試 B 高大接続型	10 名
	合　　計	112 名

○ 2019 年度 医学部進級(卒業)認定数等

学年次	学生数	進級(卒業)	留 年	退 学	除 籍
1	123	106	14	3	0
2	113	107	5	1	0
3	120	117	3	0	0
4	120	113	7	0	0
5	108	103	5	0	0
6	120	111	7	2	0
計	704	657	41	6	0

(参考)年度別 留年・退学等状況(2013～2019 年度)

年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
学生数	678	688	696	702	709	708	704
留年	43	55	45	50	47	42	41
退学	3	3	3	7	6	2	6
除籍	0	0	0	0	0	0	0
進級(卒業)率	93.2%	91.6%	93.1%	91.9%	92.5%	93.8%	93.3%

○ 医学部学生数(2020 年 4 月 1 日現在)

学 年 次	1	2	3	4	5	6	計
学 生 数	126	111	110	124	118	110	699

○ 医師国家試験

第 114 回医師国家試験

① 試　験　日 ： 2020 年 2 月 8 日(土)･9 日(日)

② 合格発表日 ： 2020 年 3 月 16 日(月)

1. 本学の状況

区分		新卒			既卒			計		
本年度		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
		111	108	97.3%	7	7	100%	118	115	97.5%
(参考)	2018 年度	114	107	93.9%	3	3	100%	117	110	94.0%
	2017 年度	107	104	97.2%	11	11	100%	118	115	97.5%

2. 全国の状況(合格率)

新卒･既卒別 / 私立･全国別	新　卒	既　卒	計
私　立　平　均	95.4%	77.1%	93.3%
全　国　平　均	94.9%	69.2%	92.1%

○ 2020 年度 大学院入学試験

入学試験は、前期募集については2019年9月10日(火)に、後期募集については2020年2月4日(火)に、外国語試験及び口述試験(面接)が実施され、合格者の発表は 2019 年 10 月 4 日(金)及び 2020 年 2 月 26 日(水)に行われた。

(1) 前期募集

区分	人数	内訳							
		医科学専攻					先端医学専攻		
		器官・代謝制御系	高次神経制御系	生体応答制御系	生体再生制御系	環境病態制御系	分子病態制御系	疼痛情報制御系	分子再生医学系
出願者	18	2	5	9	0	1	0	0	1
受験者	18	2	5	9	0	1	0	0	1
合格者	17	2	5	9	0	1	0	0	0
入学者	17	2	5	9	0	1	0	0	0

(2) 後期募集

区分	人数	内訳							
		医科学専攻					先端医学専攻		
		器官・代謝制御系	高次神経制御系	生体応答制御系	生体再生制御系	環境病態制御系	分子病態制御系	疼痛情報制御系	分子再生医学系
出願者	34	13	12	4	0	4	0	0	1
受験者	34	13	12	4	0	4	0	0	1
合格者	34	13	12	4	0	4	0	0	1
入学者	34	13	12	4	0	4	0	0	1

○ 大学院 学生数(2020 年 4 月 1 日現在)

	学年	1	2	3	4	合計
医科学専攻	学生数	52	49	41	83	225
先端医学専攻	学生数	1	0	4	1	6
計		53	49	45	84	231

※専攻別学生数は、次ページのとおり。

	専　攻	学　　年	学 生 数	内 訳	
				昼間履修	夜間履修
医科学専攻	器官・代謝制御系	1	15	4	11
		2	22	9	13
		3	23	6	17
		4	46	3	43
	高次神経制御系	1	18	3	15
		2	17	2	15
		3	7	2	5
		4	19	1	18
	生体応答制御系	1	13	3	10
		2	4	2	2
		3	8	1	7
		4	11	1	10
	生体再生制御系	1	0	0	0
		2	0	0	0
		3	0	0	0
		4	0	0	0
	環境病態制御系	1	6	1	5
		2	6	1	5
		3	3	0	3
		4	7	0	7
先端医学専攻	分子病態制御系	1	0	0	0
		2	0	0	0
		3	1	1	0
		4	0	0	0
	疼痛情報制御系	1	0	0	0
		2	0	0	0
		3	0	0	0
		4	1	0	1
	分子再生医学系	1	1	0	1
		2	0	0	0
		3	3	0	3
		4	0	0	0
			231	40	191

○ 学位の授与

甲　号(50 名)、乙　号(9 名)

学位授与累計　甲 887 号　　乙 421 号

○ 研 究 費

1. 2019 年度 科学研究費助成事業

（単位：円）

研究種目名		件数	直接経費	間接経費	総交付額
基盤研究（B）		9	31,800,000	9,540,000	41,340,000
基盤研究（C）		81	82,500,000	24,750,000	107,250,000
挑戦的研究(萌芽)		5	8,300,000	2,490,000	10,790,000
若手研究（A）		1	3,500,000	1,050,000	4,550,000
若手研究（B）		2	1,600,000	480,000	2,080,000
若手研究		28	34,400,000	10,320,000	44,720,000
国際共同研究強化（B）		1	2,900,000	870,000	3,770,000
奨励研究		5	2,550,000	0	2,550,000
合 計		132	167,550,000	49,500,000	217,050,000
（参考）	2018 年度	131	191,310,000	56,940,000	248,250,000
	2017 年度	148	212,030,000	62,280,000	274,310,000

2. 2019 年度 厚生労働科学研究費

（単位：円）

研究事業名		件数	直接経費	間接経費	総交付額
難治性疾患等政策研究事業		1	11,500,000	3,450,000	14,950,000
合 計		1	11,500,000	3,450,000	14,950,000
（参考）	2018 年度	2	23,039,000	6,911,000	29,950,000
	2017 年度	2	21,885,000	6,565,000	28,450,000

3. 2019 年度 日本医療研究開発機構（AMED）研究費

（単位：円）

研究事業名		件数	直接経費	間接経費	総交付額
創薬支援推進事業 創薬総合支援事業		2	12,280,595	1,228,058	13,508,653
研究公正高度化モデル開発支援事業		1	23,000,000	6,900,000	29,900,000
医療機器開発推進研究事業		1	28,289,000	8,486,700	36,775,700
合 計		4	63,569,595	16,614,758	80,184,353
（参考）	2018 年度	3	78,602,616	22,217,184	100,819,800
	2017 年度	4	102,983,077	29,994,923	132,978,000

4.　2019 年度 環境再生保全機構（ERCA）研究費

（単位：円）

研究事業名	件数	直接経費	間接経費	総交付額
環境研究総合推進費事業	1	19,164,000	5,006,000	24,170,000
合　計	1	19,164,000	5,006,000	24,170,000

5.　2019 年度 科学技術振興機構（JST）研究費

（単位：円）

研究事業名	件数	直接経費	間接経費	総交付額
戦略的創造研究推進事業	1	15,041,000	4,512,300	19,553,300
合　計	1	15,041,000	4,512,300	19,553,300

○ 補 助 金 等

1.　2019 年度エコチル調査委託事業精算金（環境省）

（単位：円）

環境省委託事業名		件数	直接経費	一般管理費	総交付額
エコチル調査		1	90,316,892	13,461,133	103,778,025
（参考）	2018 年度合計	1	78,814,645	11,674,415	90,489,060
	2017 年度合計	1	82,178,392	10,075,264	92,253,656

2.　2019 年度多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン補助金分配金（文部科学省）

（単位：円）

研究事業名		件数	各部署配分額	事務経費	本学分配額
多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン		1	2,920,000	1,715,000	4,635,000
（参考）	2018 年度合計	1	3,938,000	1,440,000	5,378,000
	2017 年度合計	1	5,300,000	1,700,000	7,000,000

4. 病　　院

○　次世代の白血病治療薬「キムリア」 実施施設に認定

2019 年 10 月 21 日、難治性の白血病を CAR－T 療法によって治療する点滴「キムリア」の実施施設に認定された。本院は、2019 年 10 月 23 日現在、本認定を受けている全国 6 施設のうち、唯一の私立病院となる。

○　手術支援ロボット「ダビンチ」を用いた手術症例が 500 症例に到達

2012 年から、内視鏡手術支援ロボット「ダビンチ Xi」による手術を実施しているが、2019 年 10 月 8 日に各診療科でのダビンチ手術症例が 500 症例に達した。ダビンチは、患者の身体への負担が少なく、熟練した外科医でも困難な繊細な動きを可能にした支援ロボットで、外科医がロボットアームを操作して手術を行うもの。

○　小麦に含まれるグルテンへの感受性を調べ治療につなげる「専門外来」を設置

小麦に含まれる「グルテン」に関連すると思われる身体症状や精神症状を自覚している方、もしくは、かかりつけ医より症状が疑われると言われたことがある方を対象に、グルテンへの感受性を調べ、専門的な治療へつなげる「グルテン専門外来」の診療を 2019 年 10 月 5 日より精神科神経科にて開始した。

○　その他の活動

1.　「第 19 回 地域医療懇談会」開催～地域医療機関との病診・病病連携を深める～

2019 年 5 月 18 日、ホテルヒューイット甲子園において「第 19 回 地域医療懇談会」を開催した。本懇談会は、阪神圏域の医師会を中心に、地域の医療機関との病診・病病連携を深め、社会が求めるより良い医療環境の充実を目的に毎年開催している。

当院の医師 3 名が講演を行い、その後の懇親会では活発な意見交換が行われた。医療関係者 81 名、本院関係者 51 名、合計 132 名の参加があり、盛会のうちに閉会した。

2.　循環器内科及びアレルギー・リウマチ内科への診療科名変更

診療科の専門領域を明確にすること、また患者に分かりやすくすることを目的に、2019 年 10 月 1 日より「循環器内科・冠疾患内科」から「循環器内科」に、「リウマチ・膠原病内科」から「アレルギー・リウマチ内科」に診療科名を変更した。

3.　セミナー・研修等

開催日	タイトル	講師	参加人数
11 月 30 日（土）	健康医学クリニック 医療講演会「心臓にいいことしてますか」	健康医学クリニック 大柳　光正　院長	24 名

○ 補助金等

（単位:円）

項　目			金　額
感染症予防事業費等国庫負担（補助）金	がん患者の仕事と治療の両立支援モデル事業		4,442,000
	がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金	がんゲノム医療中核拠点病院等機能強化事業	14,061,000
		がん診療連携拠点病院強化事業	8,000,000
産科医等育成・確保支援事業補助金			440,000
肝疾患診療連携拠点病院補助事業補助金			2,858,000
救命救急センター運営補助金			80,782,000
認知症地域医療連携体制強化事業補助金			2,807,000
防災訓練等参加支援事業補助金			330,000
周産期母子医療センター運営費補助金			14,363,000
兵庫県臓器移植コーディネーター設置委託費			5,354,000
エイズ中核拠点病院業務委託費			181,000
HIV 感染者等保健福祉相談事業委託費			750,000
肝炎情報センター戦略的強化事業委託費			1,694,000
兵庫県リハビリテーション支援センター運営委託費			1,470,000
兵庫県認知症疾患医療センター運営委託費			3,620,000
兵庫県電動車いす等補装具判定業務委託費			1,458,000
合　計			142,610,000
（参考）	2018 年度合計		138,223,835
	2017 年度合計		155,183,903

○ 患者数実績

1. 大学病院

			対前年度
入院患者数	延患者数（在院＋退院）	308,109 人	101.8%
	一日平均	841.8 人	101.6%
	平均在院日数（一般）	11.3 日	0 日
	平均在院日数（全体）	11.6 日	0 日
外来患者数	延患者数	661,747 人	100.7%
	一日平均	2469.2 人	100.7%

2. 健康医学クリニック

			対前年度
人間ドック健診者数	延ドック健診患者数	2,549 人	105.5%
	一日平均	9.62 人	105.1%
クリニック患者数	延患者数	716 人	90.6%
	一日平均	2.70 人	88.9%
職員健診者数	延職員健診者数	4,394 人	99.5%
	一日平均	24.01 人	98.9%
学生健診者数	延学生健診者数	938 人	93.6%
	一日平均	34.74 人	76.3%

5.　篠山キャンパス

○ 「AI（人工知能）問診サービス」運用開始

兵庫医科大学 ささやま医療センターは、初診患者の診察に「AI（人工知能）問診サービス」を導入し、2019 年 7 月 25 日より本格運用を開始した。

これにより、従来問診にかかっていた業務時間を大幅に削減し「患者の待ち時間の短縮」につなげるとともに、問診の精度を高めることで「診療の質の向上」を目指す。

○ 訪問看護ステーション「デカンショ」が厚労省から機能強化型訪問看護ステーションとして丹波地域初の認定

訪問看護ステーション「デカンショ」が、2019 年 8 月 1 日付けで、厚生労働省から丹波地域で初めてとなる「機能強化型訪問看護ステーション（機能強化型訪問看護管理療養費 3）」の認定を受けた。

機能強化型訪問看護管理療養費 3 は、2018 年度の診療報酬改定により新設となった項目で、同療養費 1 や 2 とは異なり、規模の大きさを評価するものではなく、「地域における訪問看護の提供体制を広げて確保していく観点から、訪問看護の理解と訪問看護に関る人材育成について一定の役割を担うステーションを評価したもの」である。

○ 健康な地域づくりをめざした「健康長寿教室」と「出前講座」の開催

丹波篠山市の基幹病院として健康な地域づくりに貢献することを目的として「健康長寿教室」を開催した。また、同教室に足を運べない方のために、当センターの教職員が出張して講演を行う「出前講座」も定期的に開催した。地域に出向くことにより、地域住民との密な関係を構築でき、地域住民への情報発信に非常に有効であった。

タイトル	開催回数	参加人数
健康長寿教室	36 回	74 名
出前講座	4 回	129 名

○ 医療法人社団紀洋会との相互連携協定

丹波地域における質の高い医療・介護を提供し続けるため、2020 年 4 月 1 日付けで相互連携協定が締結された。これにより相互に運営する医療・介護事業の運営協力や事業所の利用、人材交流を積極的に推進し、地域の医療資源を有効に活用することで、より地域医療の効率化を図るとともに地域のニーズに応じたサービスを提供していくことが可能となる。

○ ささやま医療センター分娩休止と周産期医療連携協定の締結

ささやま医療センターでは、永年、分娩提供施設として丹波篠山地域の方々へ周産期医療を提供してきたが、かねてより続いていた産科医の不足に伴い、2020 年 3 月末をもって分娩を休止することになった。今後地域における周産期医療を支え、安心かつ安全な周産期医療を提供していくために、また、より広域な圏域において「分娩機能の集約」「周産期医療機能の役割分担」「緊密で円滑な医療連携」を図っていくためにも下記医療機関と「周産期医療連携協定」の締結を行った。セミオープンシステム等を取り入れることで、妊婦をはじめとした地域住民に安心かつ安全でストレスのない周産期医療を提供していきたいと考えている。

【締結医療機関】
社会福祉法人恩賜財団済生会兵庫県病院、三田市民病院、兵庫県立丹波医療センター、神戸アドベンチスト病院

○ その他の活動

1. 学生宿舎建設

現在使用している学生宿舎が築40年以上経過し老朽化していたことから建設計画策定を行い、2019 年 10 月より着工となった。完成予定の学生宿舎では屋根瓦方式で学ぶ学生と研修医が同じ寮で生活し、共有スペースでの交流・親睦を通じて後輩を指導する篠山の研修文化を作っていくこと、また、談話室を使用し住民との交流等、地域基盤型の学びを実践予定である。

2. JR 西日本主催列車事故救済合同訓練への参加

11 月 27 日(水)、JR西日本主催による「列車事故お客様救済合同訓練」に、丹波篠山警察署、丹波篠山消防署などとともに、ささやま医療センターから医師 4 名、看護師 2 名、薬剤師 1 名が参加した。JR 福知山線古市・南矢代駅間において立ち往生していた大型トラックに快速電車が衝突し、多数の負傷者が車内に閉じ込められたという想定で、丹波篠山地区の関係機関が緊密に連携を取り、人命を最優先にした迅速な初動対応及びトリアージタグの取り扱い等、対処能力の向上を図ることを目的に訓練が行われた。

3. 兵庫医科大学学生に対する病院実習及び老人保健施設実習

第 5 学年次学生をささやま医療センターに隔週 4～6 名のポリクリ学生として受け入れたほか(年間計 104 名)、8 月～10 月に 4 週間のスケジュールのクリクラ学生計 5 名も受け入れ、プライマリ・ケア、老人医療を中心とした実習を実施した。また、8 月 23 日(金)～24 日(土)の 2 日間、第 2 学年次地域枠学生 5 名を受け入れ、地域医療特別演習を実施した。更には在宅ケア訪問看護実習として 3 年生 5 名、6 年生の再実習として 12 名の学生を受け入れた。

4. 早期臨床体験実習

兵庫医科大学第 1 学年次学生(8 名)に対し、7 月 2 日(火)、3 日(水)の 2 日間、早期臨床体験実習を実施した。

○ 補助金等

(単位:円)

項　目		金　額
ささやま医療センター運営費補助金		126,000,000
丹波篠山市救急医療対策事業補助金		51,560,000
病院内保育所運営事業補助金		1,657,000
へき地医療拠点病院運営費事業補助金		2,655,000
新人看護職員卒後臨床研修事業補助金		342,000
丹波医療圏病院群輪番制補助金		6,001,800
丹波医療圏小児救急輪番制補助金		2,567,898
ひょうご保育料軽減事業補助金		228,000
医療施設等運営費補助金(新型コロナウイルス感染拡大の対応に係る助成)		546,000
産科医育成・確保事業補助金		146,000
丹波篠山市への市名変更に伴う経費補助金		42,284
☆定期巡回サービス訪問看護充実支援補助事業補助金		89,250
合　　計		191,835,232
(参考)	2018年度合計	177,672,244
	2017年度合計	154,814,326

☆…居宅サービスセンター

○ 患者数実績

1. ささやま医療センター

			対前年度
入院患者数	延患者数(在院＋退院)	54,420 人	104.2%
	1 日平均	148.7 人	104.0%
	平均在院日数(一般)	16.9 日	＋1.9 日
	平均在院日数(回復期リハ)	87.9 日	＋18.7 日
外来患者数	延患者数	66,691 人	95.3%
	1 日平均	274.4 人	95.7%

※外来患者数には入院中外来患者を含む

2. 老人保健施設

			対前年度
入所利用者数	延利用者数(長期＋短期)	34,678 人	100.6%
	1 日平均(全体)	94.7 人	100.3%
	平均利用日数(長期)	198.3 日	＋2.6 日
	平均利用日数(短期)	5.0 日	＋0.1 日
通所利用者数	延利用者数	14,244 人	92.6%
	1 日平均	56 人	107.0%

3. 居宅サービスセンター

			対前年度
訪問看護	利用者数	866人	120.3%
	訪問回数	4,133回	130.8%
訪問介護	利用者数	75人	84.3%
	訪問回数	510回	115.9%
定期巡回	利用者数	119人	112.3%
	介護訪問回数	6,082回	111.6%
	看護訪問回数	283回	118.4%
居宅介護支援	件数	1,698件	105.9%

6. 神戸キャンパス

○ 公益財団法人　大学基準協会による認証評価

兵庫医療大学は、公益財団法人　大学基準協会の認証評価を受け、2019 年 10 月 10 日（木）、11 日（金）の 2 日間、実地調査が行われ、2020 年 3 月に同協会の大学基準に適合していると認定された。認定期間は、2020 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日までの 7 年間。

認証評価は、学校教育法により、大学が 7 年以内ごとに外部評価機関の評価を受けることが義務付けられているもので、本学では 2012 年度の受審に続き、適合認定となった。

○ 高大接続教育プログラムの開催

2019 年 8 月 22 日（木）、高大接続教育・学習支援部門が中心となり、協定校の医療系の学部（薬学部、看護学部、リハビリテーション学部）に興味のある高校生を対象に、第1回高大接続教育プログラムを開催した。各学部 30 分の概論講義の後、事前に実施した学部別実習希望調査の結果に基づき割り当てられた学部で、120 分程度の実習体験を行った。実習終了後には、20 分程度のキャンパスツアーを実施した。

○ 高等教育の修学支援制度

「大学等における修学の支援に関する法律」(令和元年法律第 8 号)により 2020 年度から実施される高等教育の修学支援制度の対象機関となった。本法律では、大学等における修学の支援措置として、大学等に在学する学生のうち、特に優れた者であって経済的理由により修学的理由により極めて修学に困難があるものに対して「学費支給」及び「授業料等減免」が行われる。なお、今年度に予約申請のあった在学生は 49 名であった。

○ その他の活動

1. 広報活動の改善

前年度に引き続き、入学志願者数の向上に向けて、広報活動の改善を行った。また、日本能率協会のコンサルテーションについて、調査・レビュー等を中心に活用した。

- 大学案内等制作物の改善
- イベント実施企画等の見直し
- 広報委員会との連携による学生スタッフ組織の強化
- データに基づく広報媒体の見直しおよび価格調整
- メインイメージを活用した交通広告等各種広告のイメージ統一化

2. 基盤系システム等の更新

2019 年度は、神戸キャンパスの各種システム（監視カメラ、入退室管理システム、ネットワーク）の部分的な更新を行った。

- 監視カメラシステム　監視カメラサーバー及びクライアント端末を更新
- 入退室管理システム　P 棟カードリーダー・制御装置を更新
- ネットワーク機器　P 棟 G 棟の建物スイッチの機器更新

3.　ラーニングスクエアの運用開始

2018 年度まで図書館に隣接していた旧情報処理演習室 1 について、2019 年度より図書館施設の一部として「ラーニングスクエア」と称し、アクティブラーニング等多様化する学びを促進する共有スペースの運用を開始した。（利用実績／授業利用：計 40 コマ / その他利用：計 9 コマ）併せてタイルカーペットの老朽化のため全面張替えを行った。

4.　G 棟アリーナ（体育館）に空調設備設置

熱中症対策として、G 棟アリーナ（体育館）に空調設備を設置した。

○ 国家試験

第 105 回　薬剤師国家試験

試　験　日：2020 年 2 月 22 日（土）・2 月 23 日（日）

合格発表日：2020 年 3 月 24 日（火）

区　分	6 年 制 新 卒			6 年 制 既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本　学	112	94	83.9	115	41	35.7
本学（2018 年度）	131	84	64.1	111	50	45.0
本学（2017 年度）	138	69	50.0	96	46	47.9
全　国	9,194	7,795	84.8	4,804	2,050	42.7

第 109 回　看護師国家試験

試　験　日：2020 年 2 月 16 日（日）

合格発表日：2020 年 3 月 19 日（木）

区　分	新　卒			既　卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本　学	104	104	100.0	1	1	100.0
本学（2018 年度）	111	109	98.2			
本学（2017 年度）	89	89	100.0			
全　国	59,320	56,175	94.7	6,249	2,339	37.4

第 106 回　保健師国家試験

試　験　日：2020 年 2 月 14 日（金）

合格発表日：2020 年 3 月 19 日（木）

区　分	新　卒			既　卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本　学	30	30	100.0			
本学（2018 年度）	29	29	100.0			
本学（2017 年度）	20	18	90.0			
全　国	7,318	7,050	96.3	915	487	53.2

第 103 回　助産師国家試験

試　験　日: 2020 年 2 月 13 日(木)

合格発表日: 2020 年 3 月 19 日(木)

区　分	新　卒			既　卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本　学	7	7	100.0			
本学(2018 年度)	5	5	100.0			
本学(2017 年度)	7	7	100.0			
全　国	2,098	2,088	99.5	7	5	71.4

第 55 回　理学療法士国家試験

試　験　日: 2020 年 2 月 23 日(日)

合格発表日: 2020 年 3 月 23 日(月)

区　分	新　卒			既　卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本　学	47	47	100.0	1	1	100.0
本学(2018 年度)	39	38	97.4			
本学(2017 年度)	42	42	100.0			
全　国	10,749	10,019	93.2	1,534	589	38.4

第 55 回　作業療法士国家試験

試　験　日: 2020 年 2 月 23 日(日)

合格発表日: 2020 年 3 月 23 日(月)

区　分	新　卒			既　卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本　学	39	38	97.4	7	5	71.4
本学(2018 年度)	46	41	89.1	3	1	33.3
本学(2017 年度)	43	41	95.3	1	0	0
全　国	4,795	4,515	94.2	1,557	1,033	66.3

○ 進級認定数（ 2020 年 3 月 31 日現在）

学部・学科	学年	学生数	進級 (卒業)	留年	退学	除籍
薬学部 医療薬学科	1	163	132	22	8	1
	2	194	134	41	17	2
	3	157	138	13	5	1
	4	137	127	8	2	0
	5	131	130 ※1	1	0	0
	6	149	(119) ※2	30	0	0
看護学部 看護学科	1	101	99	0	2	0
	2	103	97	6	0	0
	3	122	121	0	1	0
	4	107	(105)	2	0	0
リハビリテーション学部 理学療法学科	1	46	45	1	0	0
	2	47	45	1	1	0
	3	48	46	1	1	0
	4	49	(47)	1	1	0
リハビリテーション学部 作業療法学科	1	39	39	0	0	0
	2	50	49	1	0	0
	3	42	41	1	0	0
	4	40	(39)	1	0	0
合　計		1,725	1,243 (310)	130	38	4

※1　薬学部第 5 年次の進級者については、5 月教授会決定のため予定数。

※2　秋期卒業者数 7 名を含む。

○ 学部学生数（ 2020 年 4 月 1 日現在 ）

学　部	学　科	第 1 学年次	第 2 学年次	第 3 学年次	第 4 学年次	第 5 学年次	第 6 学年次	合計
薬学部	医療薬学科	165	173	147	146	128	160	919
看護学部	看護学科	112	105	97	123			437
リハビリテーション学部	理学療法学科	46	46	46	47			185
	作業療法学科	45	40	50	42			177
合　計		368	364	340	358	128	160	1,718

○ 大学院生数（ 2020 年 4 月 1 日現在 ）

	研究指導科目分野	1 年	2 年	3 年	4 年
薬学研究科	応用医療薬学	0	1	0	0
	免疫制御学	1	0	0	0
	神経病態制御学	1	0	0	0
	医薬品化学	1	0	1	0
	分子循環器病治療学	0	0	0	2
	創薬化学	0	0	0	1
	臨床薬剤学	0	0	0	1
	合 計	3	1	1	4

	分野	特定分野	1 年	2 年
看護学研究科	基盤看護学	基礎看護学	0	3
		看護教育学	0	0
		看護開発科学	0	1
	療養支援看護学	急性看護学	1	1
		がん看護学	2	2
		慢性看護学	1	0
		精神看護学	0	0
	家族支援看護学	小児看護学	0	0
		母性看護学	0	3
		助産学	0	0
	生活支援看護学	老年看護学	0	0
		地域看護学	0	0
		在宅看護学	1	0
	合 計		5	10

	分野	コース	1 年	2 年
医療科学研究科	病態運動学	運動器障害	0	2
		内部障害	4	3
		神経障害	3	0
	人間活動科学	身体･認知活動	1	1
		精神活動	0	2
	合 計		8	8

○ 職業実践力育成プログラム（ BP ）（ 2020 年 4 月 1 日現在 ）

プログラム・コース	修業年限	入学定員	受講者数
地域在宅看護実践力育成プログラム	1	20	12
PT・OT 臨床力ステップアッププログラム	1	10	14
リハビリテーション科学課題研究コース	2	8	0

○ 2020 年度各学部入学試験

2020 年度学生募集は、次のとおり実施した。

今年度は総合型選抜（AO 入試）を新規に導入した。その他、複数判定方式として一般入試前期 B 日程において、スタンダード型の得点にセンター試験の高得点 2 科目を合計して判定するセンタープラスを新設した。

1. 総合型選抜（AO 入試）

① 選 抜 方 法：一次試験　講義受講、試験（理系科目、文系科目）
　　二次試験　実習・演習、面接および学習・活動計画書、調査書、1 次試験結果

② 試　験　日：一次試験　2019 年 9 月 28 日（土）
　　二次試験　2019 年 10 月 20 日（日）

③ 合格発表日：2019 年 11 月 1 日（金）

④ 募集人員等：

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	6	7	4	4
出願者数	14	105	67	26
受験者数	14	105	66	26
一次試験通過者	9	24	15	12
合格者数	6	8	7	7
入学者数	6	8	7	7

2. 推薦入学試験（専願公募制）

① 選 抜 方 法：薬 学 部　外国語、理科、調査書（※特定科目重視型は 理科、調査書）
　　看護学部　外国語、小論文、調査書
　　リハビリテーション学部 理学療法学科　外国語、小論文、調査書
　　リハビリテーション学部 作業療法学科　外国語、小論文、調査書

② 試　験　日：2019 年 11 月 16 日（土）

③ 合格発表日：2019 年 11 月 25 日（月）

④　募集人員等：

区分	薬学部		看護学部	リハビリテーション学部	
	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ型	特定科目重視型		理学療法学科	作業療法学科
募集人員	25		18	10	12
出願者数	28	21	108	70	37
受験者数	28	21	108	70	37
合格者数	22	16	18	11	15
入学者数	22	2	18	11	15

3.　推薦入学試験（指定校推薦入学制度）

①　選 抜 方 法：薬学部　面接および書類審査

②　試　験　日：2019 年 11 月 16 日（土）

③　合格発表日：2019 年 11 月 25 日（月）

④　募集人員等：

区分	薬学部
募集人員	10
出願者数	10
受験者数	10
合格者数	10
入学者数	10

4.　推薦入学試験（公募制 S 日程）

①　選 抜 方 法：薬 学 部　理科、数学、調査書

看護学部　外国語、数学、調査書

②　試　験　日：2019 年 11 月 16 日（土）

③　合格発表日：2019 年 11 月 25 日（月）

④　募集人員等：

区分	薬学部	看護学部
募集人員	10	5
出願者数	101	161
受験者数	101	161
合格者数	80	40
入学者数	6	13

5. 推薦入学試験（公募制A日程）

① 選 抜 方 法：薬 学 部　理科、数学、調査書

看護学部　外国語、数学、調査書

リハビリテーション学部 理学療法学科　外国語、数学、調査書

リハビリテーション学部 作業療法学科　外国語、数学、調査書

② 試　験　日：2019 年 11 月 23 日（土）

③ 合格発表日：2019 年 11 月 29 日（金）

④ 募集人員等：

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	12	15	4	4
出願者数	50	275	115	60
受験者数	48	272	115	58
合格者数	41	67	15	22
入学者数	6	22	5	7

6. 推薦入学試験（公募制 B 日程）

① 選 抜 方 法：薬学部　理科、調査書

② 試　験　日：2019 年 12 月 14 日（土）

③ 合格発表日：2019 年 12 月 20 日（金）

④ 募集人員等：

区分	薬学部
募集人員	12
出願者数	57
受験者数	57
合格者数	54
入学者数	20

7. 一般入学試験（前期 A 日程）

① 選 抜 方 法：薬 学 部　外国語、数学、理科

看護学部　外国語、国語、理科

リハビリテーション学部 理学療法学科　外国語、数学、理科

リハビリテーション学部 作業療法学科　外国語、国語、理科

② 試　験　日：2020 年 2 月 2 日（日）

③ 合格発表日：2020 年 2 月 13 日（木）

④　募集人員等：

区分	薬学部		看護学部		リハビリテーション学部			
					理学療法学科		作業療法学科	
	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ型	特定科目重視型	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ型	特定科目重視型	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ型	特定科目重視型	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ型	特定科目重視型
募集人員	33		30		12		10	
出願者数	85	53	227	187	96	92	42	39
受験者数	81	52	223	185	95	91	42	39
合格者数	62	40	36	29	16	12	12	11
入学者数	19	3	13	1	7	3	8	1

8.　**一般入学試験（前期 B 日程）**

①　選 抜 方 法：薬 学 部　外国語、理科
　　看護学部　外国語、数学
　　リハビリテーション学部 理学療法学科　外国語、数学
　　リハビリテーション学部 作業療法学科　外国語、数学

②　試　験　日：2020 年 2 月 3 日（月）

③　合格発表日：2020 年 2 月 13 日（木）

④　募集人員等：

区分	薬学部			看護学部			リハビリテーション学部					
							理学療法学科			作業療法学科		
	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ型	特定科目重視型	ｾﾝﾀｰﾌﾟﾗｽ	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ型	特定科目重視型	ｾﾝﾀｰﾌﾟﾗｽ	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ型	特定科目重視型	ｾﾝﾀｰﾌﾟﾗｽ	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ型	特定科目重視型	ｾﾝﾀｰﾌﾟﾗｽ
募集人員	22			14			6			6		
出願者数	82	59	37	214	180	108	109	96	67	30	27	16
受験者数	78	58	35	209	177	105	109	96	67	30	27	16
合格者数	60	41	24	33	26	15	11	7	7	8	7	5
入学者数	12	4	1	9	2	0	5	2	1	2	2	1

9.　**一般入学試験（中期日程）**

①　選 抜 方 法：薬学部　理科（必須）、外国語・数学（1 教科選択）

②　試　験　日：2020 年 2 月 22 日（土）

③　合格発表日：2020 年 2 月 28 日（金）

④　募集人員等：

区分	薬学部
募集人員	8
出願者数	48
受験者数	39
合格者数	39
入学者数	26

10. 一般入学試験（後期日程）

① 選 抜 方 法：薬 学 部　外国語、理科
　　看護学部　外国語、理科、国語

② 試　験　日：2020 年 3 月 3 日（火）

③ 合格発表日：2020 年 3 月 11 日（水）

④ 募集人員等：

区分	薬学部	看護学部
募集人員	5	5
出願者数	23	62
受験者数	11	60
合格者数	11	25
入学者数	5	22

11. 大学入試センター試験利用入学試験（学力重視型）

① 選 抜 方 法：薬 学 部　理科①、理科②、外国語
　　看護学部　国語、理科、外国語
　　リハビリテーション学部 理学療法学科　数学①・数学②、理科、外国語
　　リハビリテーション学部 作業療法学科　国語、理科、外国語

② 試　験　日：本学独自の学力試験は行わない。

③ 合格発表日：2020 年 2 月 13 日（木）

④ 募集人員等:

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	5	3	2	2
出願者数	53	125	62	29
受験者数	51	122	60	29
合格者数	31	18	4	5
入学者数	1	0	1	0

12. 大学入試センター試験利用入学試験（面接併用型）

① 選 抜 方 法：一次試験　数学、理科①、理科②、外国語
　　二次試験　面接

② 試　験　日：一次試験　本学独自の学力試験は行わない。
　　二次試験　2020 年 3 月 4 日（水）

③ 合格発表日：2020 年 3 月 11 日（水）

④　募集人員等：

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	2	3	2	2
出願者数	0	16	5	3
受験者数	0	16	5	3
一次試験通過者	0	14	5	3
合格者数	0	7	3	2
入学者数	0	4	3	2

13.　合計

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	150	100	40	40
出願者数	721	1768	779	309
受験者数	684	1743	774	307
合格者数	537	322	93	94
入学者数	143	112	45	45

○ 2020 年度 大学院入学試験

2020 年度大学院入学試験を次のとおり実施した。

1.　**入学試験 Ⅰ期（薬学研究科、看護学研究科、医療科学研究科）**

①　選 抜 方 法：外国語（英語）、専門科目、面接

②　試　験　日：2019 年 9 月 28 日（土）

③　合格発表日：2019 年 10 月 9 日（水）

④　募集人員等：

区分	薬学研究科	看護学研究科	医療科学研究科
募集人員	3	8	8
出願者数	2	2	11
受験者数	2	2	11
合格者数	2	1	8
入学者数	2	1	8

2.　**入学試験　Ⅱ期（薬学研究科、看護学研究科）**

①　選 抜 方 法：外国語（英語）、専門科目、面接

②　試　験　日：2020 年 1 月 25 日（土）

③　合格発表日：2020 年 2 月 5 日（水）

④　募集人員等:

区分	薬学研究科	看護学研究科
募集人員	若干名	若干名
出願者数	1	5
受験者数	1	5
合格者数	1	4
入学者数	1	4

○ 補 助 金

1.　2019 年度私立大学等改革総合支援事業

私立大学等改革総合支援事業については「タイプ 1:特色ある教育の展開」及び「タイプ 3:地域社会への貢献」について申請を行い、共に選定された。選定結果は下記のとおりである。

（単位:千円）

	得点	補助額
タイプ 1:特色ある教育の展開	48 点／満点 89 点　※選定基準 48 点以上	7,000
タイプ 3:地域社会への貢献	32 点／満点 54 点　※選定基準 30 点以上	5,000

3.　2019 年度科学研究費獲得実績

（単位:千円）

研究種目名		件数	直接経費	間接経費	交付額
基盤研究(B)		1	1,400	420	1,820
基盤研究(C)		30	27,600	8,280	35,880
若手研究		9	12,000	3,600	15,600
若手研究(B)		4	2,800	840	3,640
研究活動スタート支援		1	1,100	330	1,430
合　計		45	44,900	13,470	58,370
(参考)	2018 年度合計	42	38,100	11,430	49,530
	2017 年度合計	40	38,130	11,439	49,569

○ 2019 年度就職状況

学部		薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
学科		医療薬学科	看護学科	理学療法学科	作業療法学科
卒業者数		119※1	105	47	39
内訳	就職者数	82	104	47	39
	進学者数	0	0	0	0
	その他※2	37	1	0	0

※1　2019 年秋季卒業生を含む

※2　国家試験や就職に向けて準備中または不明の者

Ⅲ 財務の概要

○ 2019 年度決算について

1. 概要

2019 年度は、新病院棟建設などに向けて経営基盤を一段と強化するため、持続的投資が可能となる基本金組入前当年度収支差額 2,703 百万円を期初予算計上し、業務運営の改善及び効率化、経費コントロールの強化などに取り組んだ結果、基本金組入前当年度収支差額は、期初予算比 701 百万円増、前年度比 2,249 百万円増の 3,404 百万円の黒字決算となった。

2. 事業活動収支計算書（表 1・2 及びグラフ）

＜教育活動収支＞

① 教育活動収入

教育活動収入は、58,081 百万円となり、昨年度比 1,796 百万円の増収となった。学生納付金が 99 百万円、経常費等補助金が 239 百万円減収となったものの、医療収入が前年度比 2,572 百万円増加し 44,150 百万円となった。特に、西宮本院の医療収入は、入院及び外来の患者数、単価ともに上昇し前年度比 2,485 百万円増の 40,189 百万円となった。また、ささやま医療センター、ささやま老人保健施設及び健康医学クリニックにおいてもそれぞれ増収となった。

② 教育活動支出

教育活動支出は、54,336 百万円となり、昨年度比 274 百万円の増加となった。人件費は教員人件費、退職給与引当金繰入額などが減少し、前年度比 203 百万円減の 22,985 百万円に、教育研究経費は、修繕費（前年度比▲588 百万円）、業務委託費（同▲233 百万円）、賃借料（同▲107 百万円）が減少し、前年度比 986 百万円減の 4,965 百万円となった。

一方、医療経費については、患者数の増加、薬品・医療材料費の増加などにより、前年度比 1,581 百万円増の 25,043 百万円となり、医療収入を上回る伸び率となった。主な増加要因は、薬品費（前年度比＋1,171 百万円）、医療材料費（同＋278 百万円）、消耗品費（同＋152 百万円）、業務委託費（同＋46 百万円）などである。

＜教育活動外収支＞

受取利息・配当金収入が減少したため、教育活動外収支は、前年度比 60 百万円減の 18 百万円となった。

＜特別収支＞

資産処分差額が前年度比 655 百万円減少したこと、過年度損益修正が 121 百万円発生したことなどにより、特別収支は前年度比 787 百万円改善し▲358 百万円となった。

3. 資金収支計算書（表 3）

資金収支については、前年度より収入が増加したものの、余剰資金を運用に回したため、翌年度繰越支払資金（現金預金）は、2018 年度末 142.2 億円より 11.9 億円減少し、130.3 億円となった。

4. 貸借対照表（表 4）

2019 年度末の貸借対照表の純資産（資産の部－負債の部）は、資産の部の増加、負債の部の減少により、前年度末比 3,405 百万円増の 70,330 百万円となった。資産の部は、収入増に伴う総保有資金（現金預金、有価証券等）及び未収入金の増加、現物寄付金の受入れなどにより増加した一方、減価償却費の計上、固定資産の売却等により減少した結果、2,842 百万円増加し 98,495 百万円となった。負債の部は、退職給与引当金、立体駐車場運営権対価に係る長期前受金の計上により増加した一方、借入金、未払金が減少した結果、563 百万円減少し 28,165 百万円となった。

なお、2019 年度末の支払資金の保有残高は、前年度比 1,771 百万円増の 22,250 百万円となった。

5. 主要財務比率の推移（表 5）

表 5 にて財務比率の推移を表している。比率の意味、主な留意点等を表の次頁に記載している。

6. キャッシュ・フローの推移（表 6）

「教育研究活動」「施設等整備活動」「財務活動」の活動区分ごとのキャッシュ・フローの推移を表している。それぞれのキャッシュ・フロー計算書は、他の会計基準とほぼ同様の区分等の手法を採用して作成している。

以上

表1

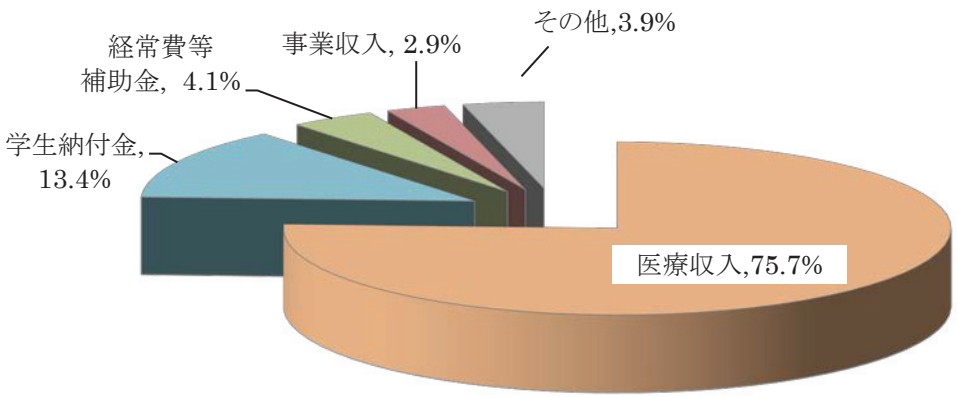
2019年度事業活動収支計算書

（単位：円）

事業活動収入の部			事業活動支出の部		
科目	金額	比率(%)	科目	金額	比率(%)
学生納付金	7,798,325,290	13.4%	人件費	22,985,471,248	41.9%
寄付金	1,491,639,618	2.6%	教育研究経費	4,965,029,461	9.0%
経常費等補助金	2,396,787,558	4.1%	医療経費	25,042,962,551	45.6%
事業収入	1,672,835,134	2.9%	管理経費	1,334,782,595	2.4%
医療収入	44,150,491,573	75.7%	その他	7,953,718	0.0%
その他	570,490,888	1.0%			
教育活動収入計	58,080,570,061		教育活動支出計	54,336,199,573	
受取利息・配当金等	56,374,811	0.1%	借入金等利息	38,436,296	0.1%
教育活動外収入計	56,374,811		教育活動外支出	38,436,296	
資産売却差額	23,280,000	0.0%	資産処分差額等	538,684,020	1.0%
その他の特別収入	157,519,932	0.3%			
特別収入計	180,799,932		特別支出計	538,684,020	
事業活動収入計	58,317,744,804	100.0%	事業活動支出計	54,913,319,889	100.0%
基本金組入額	4,445,993,856		基本金組入前当年度収支差額	3,404,424,915	
			当年度収支差額	1,041,568,941	

2019年度決算構成比率

【事業活動収入の部】



【事業活動支出の部】

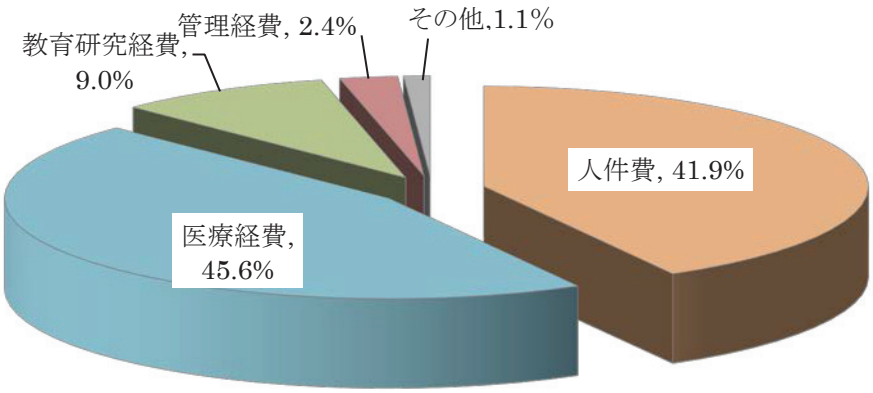


表2

事業活動収支計算書

2019年 4月 1日から
2020年 3月 31日まで

（単位：円）

事業活動収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生納付金	7,550,190,000	7,571,946,660	△ 21,756,660
手数料	257,457,000	226,378,630	31,078,370
寄付金	1,807,470,000	1,491,639,618	315,830,382
経常費等補助金	2,274,464,000	2,396,787,558	△ 122,323,558
国庫補助金	1,953,294,000	2,091,596,060	△ 138,302,060
地方公共団体補助金	321,170,000	305,191,498	15,978,502
付随事業収入	44,943,369,000	45,823,326,707	△ 879,957,707
事業収入	1,451,844,000	1,672,835,134	△ 220,991,134
医療収入	43,491,525,000	44,150,491,573	△ 658,966,573
雑収入	579,906,000	570,490,888	9,415,112
教育活動収入計	57,412,856,000	58,080,570,061	△ 667,714,061
受取利息・配当金	80,319,000	56,374,811	23,944,189
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	80,319,000	56,374,811	23,944,189
資産売却差額	0	23,280,000	△ 23,280,000
その他の特別収入	116,569,000	157,519,932	△ 40,950,932
特別収入計	116,569,000	180,799,932	△ 64,230,932
事業活動収入の部合計	57,609,744,000	58,317,744,804	△ 708,000,804

事業活動支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	23,143,811,000	22,985,471,248	158,339,752
教職員等人件費	22,360,622,000	22,113,990,841	246,631,159
退職給与引当金繰入額	721,666,000	808,905,607	△ 87,239,607
退職金	61,523,000	62,574,800	△ 1,051,800
教育研究経費	5,466,217,000	4,965,029,461	501,187,539
医療経費	24,380,649,000	25,042,962,551	△ 662,313,551
管理経費	1,558,733,000	1,334,782,595	223,950,405
徴収不能額等	0	7,953,718	△ 7,953,718
教育活動支出計	54,549,410,000	54,336,199,573	213,210,427
借入金等利息	41,355,000	38,436,296	2,918,704
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	41,355,000	38,436,296	2,918,704
資産処分差額	116,196,000	538,684,020	△ 422,488,020
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	116,196,000	538,684,020	△ 422,488,020
[予備費]	200,000,000		200,000,000
事業活動支出の部合計	54,906,961,000	54,913,319,889	△ 6,358,889
基本金組入前当年度収支差額	2,702,783,000	3,404,424,915	△ 701,641,915
基本金組入額合計	△ 6,196,091,000	△ 4,445,993,856	△ 1,750,097,144
当年度収支差額	△ 3,493,308,000	△ 1,041,568,941	△ 2,451,739,059
前年度繰越収支差額	△ 43,418,813,446	△ 43,418,813,446	0
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 46,912,121,446	△ 44,460,382,387	△ 2,451,739,059

（参考）

事業活動収入計	57,609,744,000	58,317,744,804	△708,000,804
事業活動支出計	54,906,961,000	54,913,319,889	△6,358,889

表3

資 金 収 支 計 算 書

2019年 4月 1日から
2020年 3月 31日まで

(単位:円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生納付金収入	7,550,190,000	7,571,946,660	△ 21,756,660
手数料収入	257,457,000	226,378,630	31,078,370
寄付金収入	779,029,000	736,266,249	42,762,751
補助金収入	2,340,333,000	2,402,796,558	△ 62,463,558
国庫補助金収入	2,019,163,000	2,097,605,060	△ 78,442,060
地方公共団体補助金収入	321,170,000	305,191,498	15,978,502
資産売却収入	0	1,597,445,000	△ 1,597,445,000
付随事業・収益事業収入	44,943,369,000	45,823,326,707	△ 879,957,707
事業収入	1,451,844,000	1,672,835,134	△ 220,991,134
医療収入	43,491,525,000	44,150,491,573	△ 658,966,573
受取利息・配当金収入	80,319,000	56,374,811	23,944,189
雑収入	579,906,000	568,458,817	11,447,183
借入金等収入	127,596,000	230,679,911	△ 103,083,911
前受金収入	1,163,350,000	2,384,715,249	△ 1,221,365,249
その他の収入	9,186,896,668	8,982,108,935	204,787,733
資金収入調整勘定	△ 8,800,710,835	△ 10,332,421,059	1,531,710,224
前年度繰越支払資金	14,221,737,715	14,221,737,715	
収入の部合計	72,429,472,548	74,469,814,183	△ 2,040,341,635

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	23,015,824,000	22,761,900,641	253,923,359
教職員等人件費支出	22,360,622,000	22,113,990,841	246,631,159
退職金支出	655,202,000	647,909,800	7,292,200
教育研究経費支出	2,862,897,000	3,177,773,428	△ 314,876,428
医療経費支出	20,779,021,000	22,526,148,211	△ 1,747,127,211
管理経費支出	3,460,676,000	1,258,175,317	2,202,500,683
借入金等利息支出	41,355,000	38,436,296	2,918,704
借入金等返済支出	1,003,189,000	1,047,901,154	△ 44,712,154
施設関係支出	2,266,143,000	1,936,837,800	329,305,200
設備関係支出	3,097,514,000	2,512,528,635	584,985,365
資産運用支出	500,000,000	4,792,560,000	△ 4,292,560,000
その他の支出	8,638,354,495	8,406,693,209	231,661,286
[予備費]	200,000,000		200,000,000
資金支出調整勘定	△ 7,067,332,633	△ 7,025,409,170	△ 41,923,463
翌年度繰越支払資金	13,631,831,686	13,036,268,662	595,563,024
支出の部合計	72,429,472,548	74,469,814,183	△ 2,040,341,635

表4

貸　借　対　照　表

2020年　3月 31日

（単位:円）

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	74,959,158,919	71,440,231,959	3,518,926,960
有形固定資産	61,529,830,949	61,848,606,499	△ 318,775,550
土地	15,585,027,616	15,754,173,621	△ 169,146,005
建物・構築物	35,480,768,218	37,335,332,968	△ 1,854,564,750
教育研究用機器備品	8,322,605,256	8,091,389,139	231,216,117
管理用機器備品	222,590,244	233,764,401	△ 11,174,157
図書	355,625,774	356,006,712	△ 380,938
建設仮勘定	1,544,128,000	53,244,000	1,490,884,000
その他	19,085,841	24,695,658	△ 5,609,817
特定資産	3,972,519,111	2,731,619,111	1,240,900,000
退職給与引当特定資産	1,014,801,111	1,014,801,111	0
教育施設設備等引当特定資産	199,818,000	199,818,000	0
第2号基本金引当特定資産	1,000,000,000	500,000,000	500,000,000
第3号基本金引当特定資産	1,757,900,000	1,017,000,000	740,900,000
その他の固定資産	9,456,808,859	6,860,006,349	2,596,802,510
その他	9,456,808,859	6,860,006,349	2,596,802,510
流動資産	23,535,638,150	24,213,008,729	△ 677,370,579
現金預金	13,036,268,662	14,221,737,715	△ 1,185,469,053
有価証券	698,770,000	545,343,500	153,426,500
その他	9,800,599,488	9,445,927,514	354,671,974
資産の部合計	98,494,797,069	95,653,240,688	2,841,556,381

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	18,325,731,957	18,056,117,904	269,614,053
長期借入金	9,689,267,000	10,880,137,000	△ 1,190,870,000
退職給与引当金	6,907,596,726	6,684,026,119	223,570,607
長期未払金	468,285,831	491,954,785	△ 23,668,954
長期前受金	1,260,582,400	0	1,260,582,400
流動負債	9,839,840,990	10,672,323,577	△ 832,482,587
短期借入金	1,421,549,911	1,047,901,154	373,648,757
1年以内償還予定学校債	10,000,000	10,000,000	0
前受金	1,124,132,849	1,096,435,835	27,697,014
その他	7,284,158,230	8,517,986,588	△ 1,233,828,358
負債の部合計	28,165,572,947	28,728,441,481	△ 562,868,534

純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	114,789,606,509	110,343,612,653	4,445,993,856
第1号基本金	108,260,706,509	105,055,612,653	3,205,093,856
第2号基本金	1,000,000,000	500,000,000	500,000,000
第3号基本金	1,757,900,000	1,017,000,000	740,900,000
第4号基本金	3,771,000,000	3,771,000,000	0
繰越収支差額	△ 44,460,382,387	△ 43,418,813,446	△ 1,041,568,941
翌年度繰越収支差額	△ 44,460,382,387	△ 43,418,813,446	△ 1,041,568,941
純資産の部合計	70,329,224,122	66,924,799,207	3,404,424,915
負債及び純資産の部合計	98,494,797,069	95,653,240,688	2,841,556,381

注記　減価償却額の累計額　58,470,923,762 円
　　基本金未組入額　12,040,826,669 円

表5

主要な財務比率の推移

区分		2015	2016	2017	2018	2019
貸借対照表関係財務比率						
① 固定比率	固定資産／純資産(自己資金)	95.9%	105.4%	105.3%	106.7%	106.6%
② 固定長期適合率	固定資産／純資産(自己資金)＋固定負債	80.5%	85.4%	81.7%	84.1%	84.6%
③ 流動比率	流動資産／流動負債	249.0%	194.7%	246.5%	226.9%	239.2%
④ 総負債比率	総負債／総資産	25.8%	29.8%	31.0%	30.0%	28.6%
⑤ 退職給与引当特定資産保有率 (退職給与引当資産率)	退職給与引当特定資産／退職給与引当金	12.5%	9.3%	12.1%	15.2%	14.7%
⑥ 基本金比率	基本金／基本金要組入額	92.8%	92.3%	87.9%	90.0%	92.5%

・ 純資産 ＝ 基本金 + 繰越収支差額（自己資金 ＝基本金 + 消費収支超過額）

（注） 平成27年度学校法人会計基準改正に伴う変更があるものについては、旧会計基準での表記を( )内に表示

区分		2015	2016	2017	2018	2019
事業活動収支計算書関係財務比率						
① 人件費比率 ※	人件費／経常収入	44.0%	44.3%	42.9%	41.1%	39.5%
② 教育研究経費比率 ※	教育研究経費／経常収入	9.6%	8.9%	10.3%	10.6%	8.5%
③ 医療経費比率 ※	医療経費／経常収入	39.1%	40.4%	40.7%	41.6%	43.1%
④ 借入金等利息比率 ※	借入金等利息／経常収入	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
⑤ 基本金組入後収支比率	事業活動支出／(事業活動収入－基本金組入額)	102.5%	119.6%	91.2%	100.7%	101.9%
⑥ 学生生徒等納付金比率 ※	学生生徒等納付金／経常収入	14.4%	14.6%	14.2%	13.6%	13.0%
⑦ 事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	2.2%	1.2%	5.0%	2.0%	5.8%

・ 経常収入＝ 教育活動収入+ 教育活動外収入

※ 平成27年度より分母が変更となった比率。「帰属収入」から「経常収入」に変更

（単位：百万円）

財務数値（貸借対照表関係）		2015	2016	2017	2018	2019
1	固定資産	59,799	66,412	69,231	71,440	74,959
2	流動資産	24,268	23,308	26,048	24,213	23,536
3	純資産(自己資金)	62,385	63,024	65,770	66,925	70,329
4	固定負債	11,934	14,726	18,944	18,056	18,326
5	流動負債	9,747	11,970	10,565	10,672	9,840
6	総資産	84,066	89,720	95,279	95,653	98,495
7	総負債	21,681	26,696	29,509	28,728	28,166
8	退職給与引当特定資産	800	600	800	1,015	1,015
9	退職給与引当金	6,424	6,466	6,633	6,684	6,908
10	基本金	103,661	112,779	110,467	110,344	114,790
11	基本金要組入額	111,715	122,176	125,735	122,590	124,073
財務数値（事業活動支計算書関係）						
1	人件費	22,910	23,066	23,095	23,188	22,985
2	教育研究経費	5,002	4,646	5,554	5,951	4,965
3	医療経費	20,377	21,023	21,888	23,462	25,043
4	借入金等利息	62	51	46	44	38
5	事業活動収入(帰属収入)	52,079	52,327	55,310	56,471	58,318
6	経常収入	51,227	52,042	53,830	56,405	58,137
7	事業活動収入－基本金組入額 (消費収入)	49,707	43,209	57,622	54,954	53,872
8	事業活動支出(消費支出)	50,956	51,688	52,565	55,316	54,913
9	学生生徒納付金収入	7,493	7,577	7,639	7,671	7,572

（注） 平成27年度学校法人会計基準改正に伴う変更があるものについては、旧会計基準での表記を( )内に表示

財務比率の説明

貸借対照表関係財務比率

① 固定比率	固定資産の純資産に対する割合で、土地、建物、施設等の固定資産にどの程度純資産が投下されているか、資金の調達源泉とその使途とを対比させる関係比率である。低い値がよい。
② 固定長期適合率	固定資産の、純資産と固定負債を合計した長期資金に対する割合である。低い値がよい。
③ 流動比率	流動負債に対する流動資産の割合。1年以内に償還しなければならない流動負債に対して、現金預金又は1年以内に現金化が可能な流動資産がどの程度用意されているかという資金流動性すなわち短期的な支払能力を判断する重要な指標の一つ。一般に金融機関等では、200%以上であれば優良とみなしており、100% を切っている場合には、流動負債を固定資産に投下していることが多く、資金繰りに窮しているとみることができる。したがって、高い値がよい。
④ 総負債比率	固定負債と流動負債を合計した負債総額の総資産に対する割合。この比率は、総資産に対する他人資金の比重を評価する極めて重要な関係比率である。低い値がよい。
⑤ 退職給与引当特定資産保有率	固定負債の中の退職給与引当金と、その他の固定資産の中の退職給与引当特定資産との関係比率である。高い値がよい。
⑥ 基本金比率	基本金組入対象資産額である要組入額に対する組入済基本金の割合。この比率の上限は100%であり、100%に近いほど未組入額が少ないことを示している。100%に近づくほうが望ましい。

事業活動収支計算書関係財務比率

① 人件費比率	人件費の経常収入に対する割合を示す重要な比率。この比率が特に高くなると経常支出全体を大きく膨張させ、経常収支の悪化を招きやすい。また、いったん上昇した人件費比率の低下を図ることは容易ではない。
② 教育研究経費比率	教育研究経費の経常収入に対する割合。高い値がよいが、経常収支の均衡を崩さない程度であればよい。
③ 医療経費比率	医療経費の経常収入に対する割合。高度な医療を提供することで、どうしても医療経費が高くなるが、効率を考えると当然低い値がよい。
④ 借入金等利息比率	借入金等利息の経常収入に対する割合。低い値がよい。
⑤ 基本金組入後収支比率	事業活動収入から基本金組入額を控除した額に対する事業活動支出が占める割合を示す比率である。一般的には、収支が均衡する100%前後が望ましいと考えられるが、臨時的な固定資産の取得等による基本金組入れが著しく大きい年度において一時的に急上昇することがあり、基本金の組入状況及びその内容を考慮して分析する必要がある。
⑥ 学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金の経常収入に占める割合である。安定的に推移することが望ましいが、一概に高い値がよいとか低い値がよいとかはいえない。ただ、高水準で納付金に依存するよりは相対的にこの比率が低いほうがよい場合もある。
⑦ 事業活動収支差額比率	事業活動収入に対する基本金組入前の当期収支差額が占める割合であり、この比率がプラスで大きくなるほど自己資金は充実されていることになり、経営に余裕があるものとみなすことができる。この比率がマイナスになる場合は、当年度の事業活動収入で事業活動支出を賄うことができないことを示し、基本金組入前で既に事業活動支出超過の状況にある。マイナスが大きくなるほど経営は窮迫し、いずれ資金繰りにも困難をきたすこととなる。

表6
キャッシュ・フローの推移

（単位：千円）

区分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
1．教育研究活動によるキャッシュ・フロー					
学生納付金収入	7,492,788	7,577,418	7,638,567	7,670,667	7,571,947
手数料収入	273,102	271,576	271,828	219,818	226,379
寄付金収入	919,459	785,636	2,140,310	708,252	736,266
補助金収入	2,596,976	2,449,250	2,345,915	2,688,439	2,402,797
受取利息・資産運用収入	403,783	160,831	217,360	121,261	56,375
事業収入	1,672,747	1,302,163	1,456,523	1,559,895	1,672,835
医療収入	37,489,403	38,902,572	40,384,930	41,578,675	44,150,492
雑収入	1,176,169	567,145	709,060	850,754	568,459
前受金収入	1,193,176	1,182,192	1,179,517	1,096,286	2,384,715
その他の収入	6,777,841	8,015,670	8,193,417	9,004,160	8,931,514
資金収入調整勘定（注1）	△ 9,227,599	△ 9,290,950	△ 10,195,325	△ 10,107,037	△ 10,332,421
小計　（1）	50,767,845	51,923,503	54,342,102	55,391,170	58,369,358
人件費支出	22,985,507	23,024,214	22,928,204	23,136,894	22,761,901
教育研究経費支出	21,346,450	21,604,334	23,141,676	25,211,560	25,703,922
教育研究経費支出	3,598,460	3,256,924	3,842,758	4,235,448	3,177,773
医療経費支出	17,747,990	18,347,410	19,298,918	20,976,112	22,526,148
管理経費支出	1,725,407	1,615,883	1,495,195	1,402,910	1,258,175
借入金等利息支出	61,864	50,756	46,453	43,784	38,436
その他の支出	5,777,715	6,960,871	9,214,639	8,010,418	8,076,898
資金支出調整勘定（注2）	△ 7,068,287	△ 9,017,983	△ 7,905,634	△ 8,171,503	△ 7,025,409
小計　（2）	44,828,656	44,238,075	48,920,533	49,634,063	50,813,923
教育研究活動による正味キャッシュ・フロー1　{(1)－(2)}	5,939,189	7,685,428	5,421,569	5,757,107	7,555,435
2．施設等整備活動によるキャッシュ・フロー					
資産売却収入（動産・不動産売却収入）	0	0	6,470	0	85,100
小計　（3）	0	0	6,470	0	85,100
施設関係支出	1,550,659	9,574,786	4,122,965	621,886	1,936,838
設備関係支出	1,468,684	1,243,048	2,176,078	1,719,311	2,512,529
小計　（4）	3,019,343	10,817,834	6,299,043	2,341,197	4,449,367
施設等整備活動によるキャッシュ・フロー2　{(3)－(4)}	△ 3,019,343	△ 10,817,834	△ 6,292,573	△ 2,341,197	△ 4,364,267
事業正味キャッシュ・フロー（1＋2）	2,919,846	△ 3,132,406	△ 871,004	3,415,910	3,191,168
3．財務活動によるキャッシュ・フロー					
短期借入金純増加額	△ 15,757	5,296	19,401	44,713	58,371
長期借入金収入	0	4,000,000	5,000,000	0	0
長期借入金返済支出	1,172,830	1,022,530	1,022,530	935,570	875,593
小計　（5）	△ 1,188,587	2,982,766	3,996,871	△ 890,857	△ 817,222
有価証券売却収入	2,000,000	241,751	2,131,830	1,000,000	1,512,345
有価証券購入支出	2,500,000	0	0	3,406,297	4,292,560
小計　（6）	△ 500,000	241,751	2,131,830	△ 2,406,297	△ 2,780,215
その他の収入	34,464	116,679	45,759	57,874	50,595
その他の支出	379,974	368,167	356,430	331,355	329,795
小計　（7）	△ 345,510	△ 251,488	△ 310,671	△ 273,481	△ 279,200
引当資産から支払資金へ	100,000	187,499	0	0	0
支払資金から引当資産へ	100,000	0	200,000	714,810	500,000
小計　（8）	0	187,499	△ 200,000	△ 714,810	△ 500,000
財務活動によるキャッシュ・フロー3　{(5)＋(6)＋(7)＋(8)}	△ 2,034,097	3,160,528	5,618,030	△ 4,285,445	△ 4,376,637
繰越支払資金の増加額　A（1＋2＋3）	885,749	28,122	4,747,026	△ 869,535	△ 1,185,469
前年度繰越支払資金　B	9,430,376	10,316,125	10,344,247	15,091,273	14,221,738
次年度繰越支払資金　（A＋B）	10,316,125	10,344,247	15,091,273	14,221,738	13,036,269

注1. 資金収入調整勘定：前期末前受金、期末未収入金
注2. 資金支出調整勘定：前期末前払金、期末未払金、期末長期未払金

財産目録

Ⅰ　資産総額		98,494,797,069 円
内	基本財産	68,130,851,416 円
	運用財産	30,363,945,653 円
	収益事業用財産	0 円
Ⅱ　負債総額		28,165,572,947 円
Ⅲ　正味財産		70,329,224,122 円

区分			金額	
資産額				
1　基本財産			68,130,851,416	円
土地	155,415.57	㎡	15,585,027,616	円
建物	228,271.76	㎡	35,151,417,189	円
図書	68,911	冊	355,625,774	円
教具･校具･備品	19,627	点	8,545,195,500	円
その他			8,493,585,337	円
2　運用財産			30,363,945,653	円
現金預金			13,036,268,662	円
その他			17,327,676,991	円
3　収益事業用財産			0	円
資産総額			98,494,797,069	円
負債額				
1　固定負債			18,325,731,957	円
長期借入金			9,689,267,000	円
その他			8,636,464,957	円
2　流動負債			9,839,840,990	円
短期借入金			1,421,549,911	円
その他			8,418,291,079	円
負債総額			28,165,572,947	円
正味財産（資産総額－負債総額）			70,329,224,122	円

※1　基本財産：学校法人の設置する私立学校に必要な施設及び設備又はこれらに要する資金
※2　運用財産：学校法人の設置する私立学校の経営に必要な財産

2019年度監事監査報告書

2020年5月21日

学校法人　兵庫医科大学
理　事　会　御中
評　議　員　会　御中

常勤監事　森田泰夫

監　事　中岡博

監　事　正木義博

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人兵庫医科大学寄附行為第17条の規定に基づき、学校法人兵庫医科大学監事監査規程(以下「監事監査規程」という)により、学校法人兵庫医科大学の2019年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。その方法及び結果について以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法

私たちは監査にあたり、常務会、経営常務会、理事会、評議員会及びその他重要会議に出席するほか、2019年度監事監査計画で取り上げた各キャンパスにおける業務の状況について各担当理事その他からの状況の聴取または書面提出及び内部監査室から内部監査の報告の聴取並びに私立学校振興助成法第14条3項の規定に基づく会計監査を実施している監査法人から、監査の実施状況及びその結果について報告を受け、さらに、学校法人の業務並びに財産の状況について意見を述べるに当たり、必要と認めた監査手続を監事監査規程に基づき実施しました。

2. 監査の結果

学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表並びに財産目録等は、会計帳簿の記録と合致し、その収支及び財産の状況を、事業報告書は学校法人の状況を適切に表示しており、業務又は財産に関する不正の行為、または、法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上

学校法人兵庫医科大学

兵庫医科大学

兵庫医療大学

兵庫医科大学病院

兵庫医科大学
ささやま医療センター

学校法人 兵庫医科大学

2019年度　事業報告書

発行日：2020年6月26日
発　行　：　学校法人　兵庫医科大学
〒663-8501　兵庫県西宮市武庫川町1－1
TEL．0798-45-6111㈹
編　集　：　学校法人兵庫医科大学　総務部総務課